

平成 1 5 年
(2003年)

徳島県のがん登録事業

徳 島 県
徳島県生活習慣病検診管理指導協議会

ごあいさつ

がんは昭和５６年以来、わが国の死亡原因の第１位であり、死亡者数は平成１３年に３０万人を突破したのちもなお増加し、全死亡者に対する割合も３０％を超えており、がんは国民の生命及び健康にとって重大な問題となっております。

このような現状から、がん対策の一層の充実を図り、がん対策を総合的かつ計画的に推進していくため、「がん対策基本法」に基づき、平成１９年６月に「がん対策推進基本計画」が策定され、がん登録については、重点的に取り組むべき課題として、更に推進していくことが求められております。

本県においても、平成１８年中に２，３６７人が亡くなられるなど、依然として死亡の最大の原因であり、平成５年から徳島県がん登録事業を実施し、り患率や受療状況など、地域におけるがんの実態把握に努めております。

本事業の推進にあたっては、徳島県生活習慣病検診管理指導協議会の「生活習慣病登録・評価等部会委員会」の指導助言をいただくとともに、社団法人徳島県医師会等の医療機関関係者にご協力をいただいております。

本報告書は、平成１５年に本県でがんと判断された方のデータを集計・解析したものであり、本県のがんの動向を分析するための資料となっておりますので、関係各位に幅広く御活用いただき、がん予防対策に役立てていただければ幸いです。

終わりに、本事業にご協力いただきました多くの医療機関関係者及び本報告書を取りまとめていただいた徳島県生活習慣病検診管理指導協議会の関係者の方々に、心からお礼を申し上げますとともに、今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成２０年３月

徳島県保健福祉部長

三 木 章 男

目次

ごあいさつ

届出登録の手順	1
---------	---

人口と罹患数，死亡数	2
------------	---

1 罹患	4
------	---

(1) 主要部位別罹患数，粗罹患率，年齢調整罹患率及び罹患割合……	6
(2) 主要部位別年齢調整罹患率の比較　－徳島及び全国(推定値)－ …	8
(3) 年齢階級別罹患率，主要部位別，性別及び罹患時の平均年齢……	9
(4) 年齢階級別罹患順位，性別 ……………	10
(5) 保健所管内別の罹患……………	11
(6) 保健所管内別，主要部位別の罹患数……………	12
(7) 全がん罹患数，粗罹患率及び年齢調整罹患率の推移……………	13
(8) 主要部位別罹患数，粗罹患率及び年齢調整罹患率の推移……………	13

2 登録の精度	19
---------	----

(1) 届出の精度 ……………	19
(2) 診断の精度 ……………	20

3 来院の動機	21
---------	----

(1) 主要部位別来院の動機 ……………	21
(2) 保健所管内別の来院の動機 ……………	22
(3) 年齢階級別来院の動機 ……………	23
(4) 来院の動機の年次別推移……………	24

4 進行度	25
-------	----

(1) 主要部位別の進行度	25
(2) 保健所管内別，部位別の進行度	26
(3) 年齢階級別の進行度	27
(4) 年次別の進行度	28
(5) 来院動機による部位別の進行度	29

5 検査及び治療	30
----------	----

(1) 主要部位別比較	30
(2) 年齢階級別比較	32

6 手術内容	36
--------	----

7 死亡及び罹患内容	37
------------	----

参考資料	38
------	----

○ 登録評価等部会委員名簿(H20.3.31現在)	38
○ これまでに辞任された委員の任期と当時の職	38
○ 徳島県の市町村と管轄保健所	40
○ 計算で使用した徳島県人口と基準人口	41
・ 地域別の計算で使用した徳島県の地域人口	
○ ICD-10の分類の構成（基本分類表）（抜粋）	44
・ 死因分類表(抜粋)	
○ 文献	54

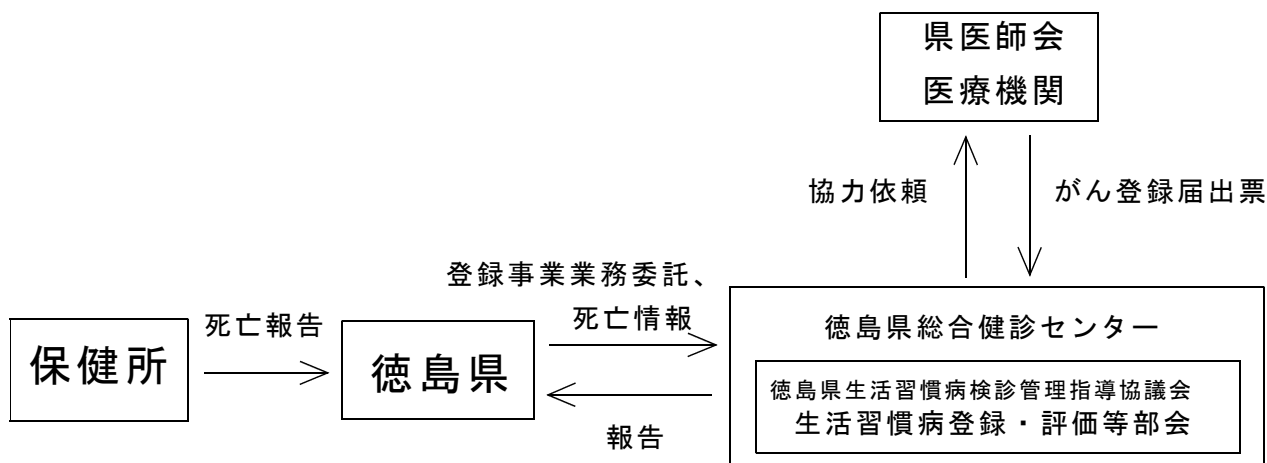
届出登録の手順

がん登録は、県医師会の協力を得て、県内の医療機関に対し届出資材を送り、徳島県在住のがん患者の届出を依頼する。また、必要に応じて、届出資材を配布する。これにより記入された届出票は、徳島県から業務委託された徳島県総合健診センター内に設置する生活習慣病検診管理指導協議会生活習慣病登録・評価等部会へ郵送され、専任の担当者が開封し内容を確認する。連番を打ち電算機入力のためコード化の準備をする。そして、既登録患者かどうか調べ、初めての場合は、新規登録作業を行い、既登録患者なら変化のあった情報に内容を修正する。

こうして情報はデータベースにされ、各保健所を通じ県を経由して提供される死亡小票の情報と照合して、集計、分析される。

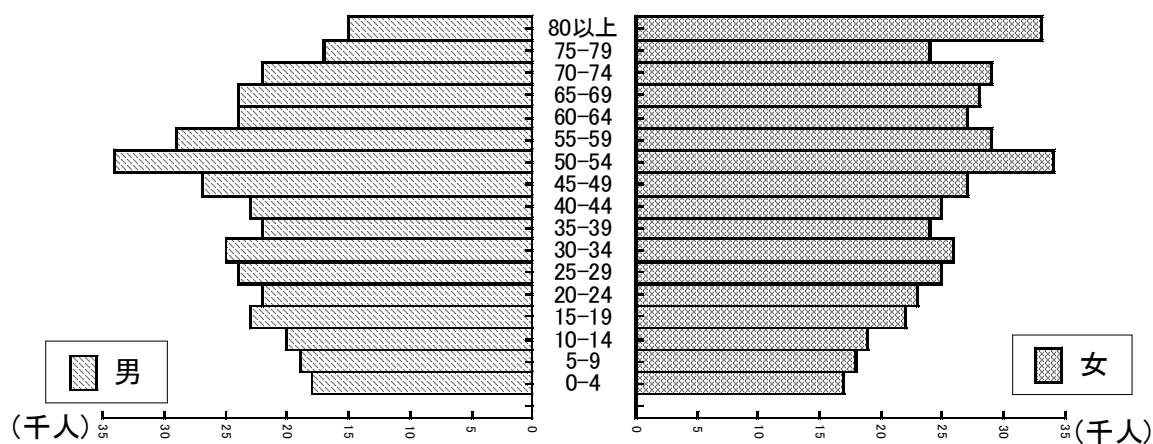
「地域がん登録の手引き」^{文献1}では「がん死亡数（人口動態統計による）の2倍以上の届出を得ること」として、届出票の中には、対象地域外居住者の届出、同じ患者についての重複届出、疑診症例についての届出、などを含めた届出数が、がん死亡数の2倍あることが望ましいとされているが、現在使用する電算機の内部データは、1患者につき1つのレコードフィールドとして、既登録患者か、新規登録患者かを入力時にチェックし、書き換える方法をとっている。この為、集計時の手間は、省ける反面、提出時期による経過が、判らないなどの現象が起きるが、システムとして、不足する点は少ない。

届出票は、施錠のできる保管庫に管理され、入力用電算機の使用については、外部流出が困難な、専用の1台のみとし、パスワードにより使用者の制限をしている。プレゼンテーションについては、必要に応じて、特定の者が、作表の出力を行い、必要な形に計算加工する。



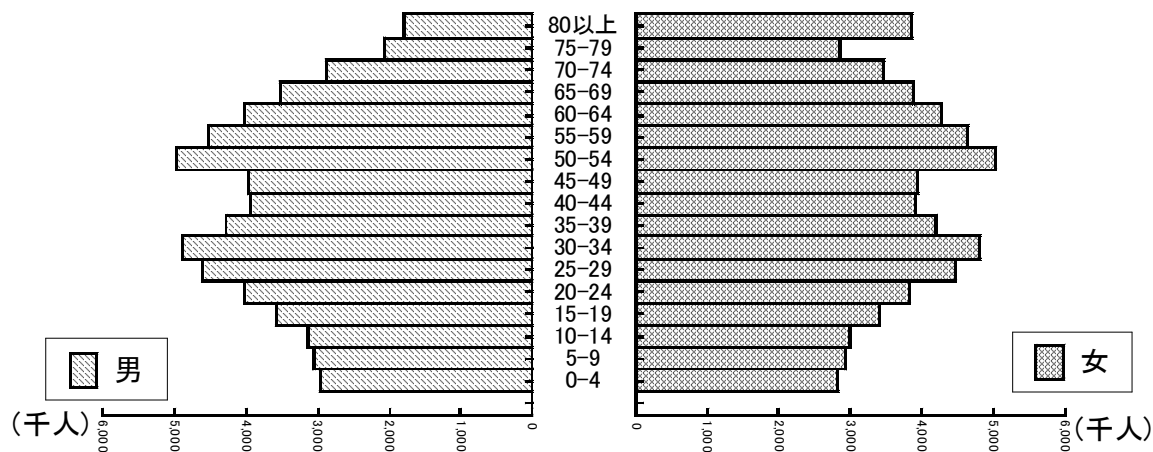
人口と罹患数，死亡数

徳島県の人口 (H15. 10. 1推計人口)*



*(H15の推計人口から年齢不詳を除く)

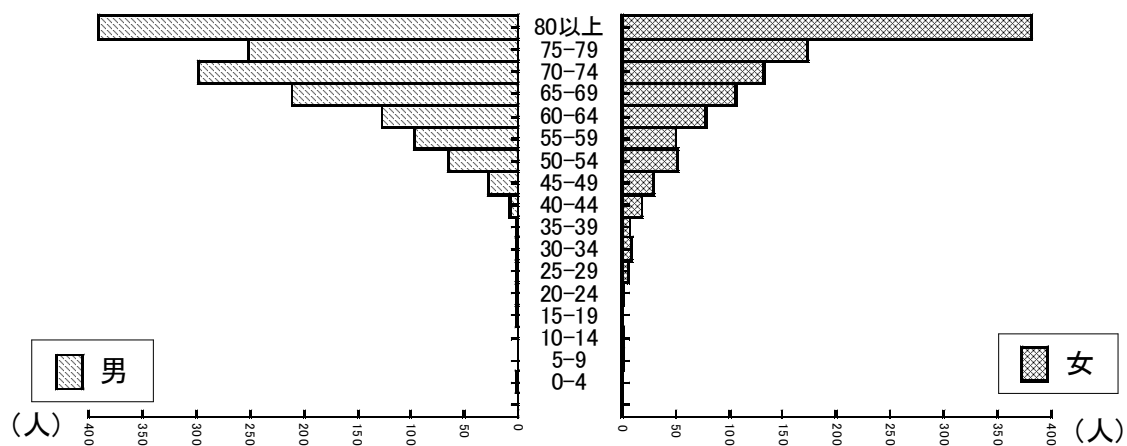
日本の人口 (H15. 10. 1推計人口)



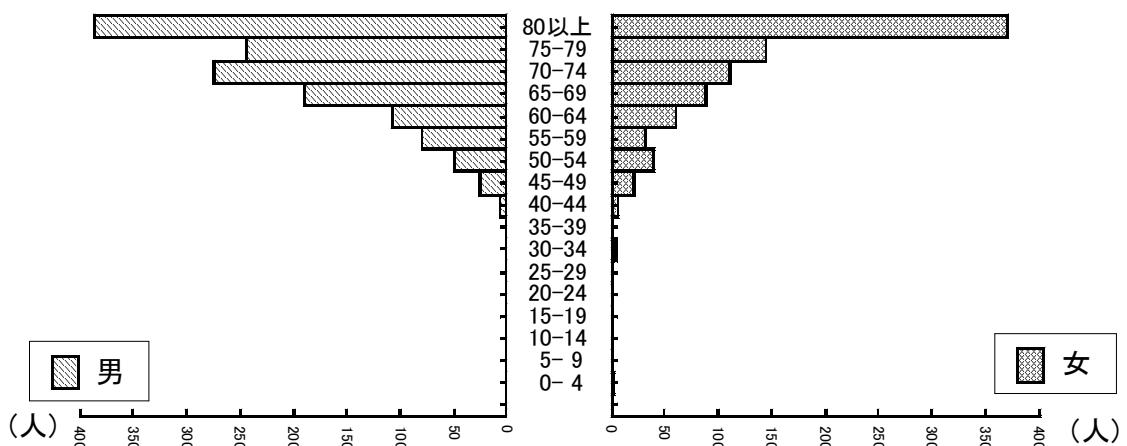
徳島県の人口ピラミッドと日本の人口ピラミッドをグラフにした。

つぎに、平成15年の新生物として登録した数と死亡者の数をグラフにした。

徳島県の新生物罹患数(H15)



徳島県の新生物死亡数(H15)



1 罹 患

平成19年9月30日までに到着した届出のうち、徳島県内のいずれかの市町村に住所を有するがんに関わる初回診断年が平成15年の308人（男133人、女175人）及び、平成15年のがん死亡者2,259人を対象とし、届出者と死亡者の重複が25人であることから、今回の罹患者数を2,542人とする。このうち過去に届出のなかった、がん死亡小票のみで知ったものが2,080人あり、残り462人を便宜上、登録数と呼び平成15年分を観察数と呼ぶこととした。

届出もれで死亡情報のみで登録されているがん死亡者は、厚生省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が制定した「地域がん登録の手引き」^{文献1}に基づき、国際的な取り決めに従い、死亡年月日を「診断年月日」として、集計に加えた。

また、届出者の初回診断日が不明確な場合は、入院日、あるいは、手術日で代用した。

収集に2～3年かけて行うのは、特に悪性新生物は確定診断の難しい疾病であるため、治療期間も長期となり遅れて届出される場合が多いためである。

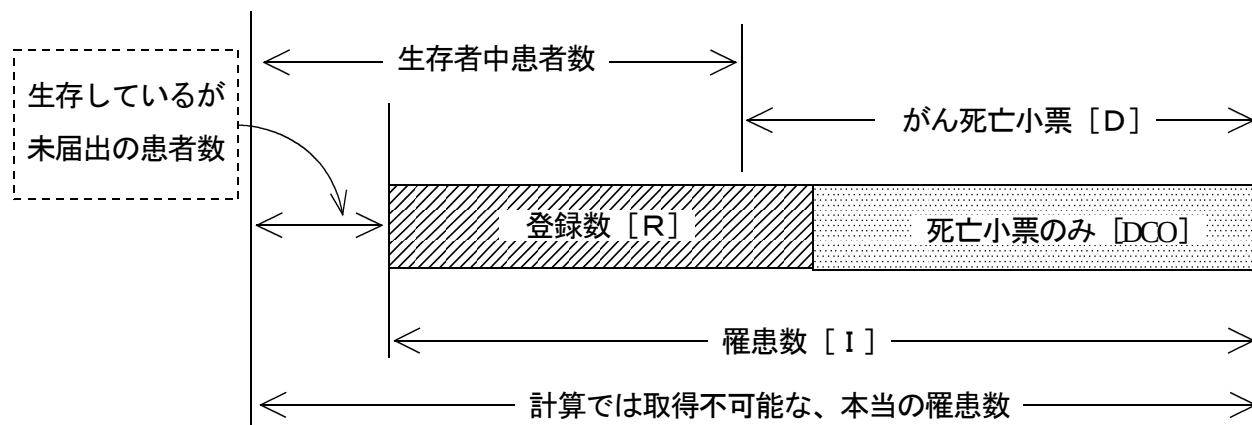
届出の中には、後述の基本分類コード（ICD-10）のC00からC97までだけでなく、わずかであるが、その他の新生物として、D00からD48の届出があり、悪性新生物のみと届出分全体を併せて集計し、それぞれ全がん、新生物と呼んでまとめた。死亡小票については、どちらの場合も、C00からC97までを対象としている。

罹患者数：ここでは、当事業で知り得た「登録数」と「死亡小票のみ」の和で求めている。この為、関係医療機関には、もれなく届出してもらうことが望まれる。

登録数：届出された者の中で、徳島県に住み、氏名、生年月日が示されている重複のない同一患者を「1」件とした数。

がん死亡小票：徳島県内で、死亡報告のあった患者数。

死亡小票のみ：過去に届出のなかった、がん死亡小票のみで知った患者数。



罹患者数 (I)	2,542 人
登録数 (R)	462 人 [ICD-10:C00-D48(02000)]
がん死亡小票 (D)	2,259 人 [ICD-10:C00-C97(02100)]
死亡小票のみ (DCO)	2,080 人
徳島県総人口	817,000 人 (H15の推計人口)

- 粗罹患率は、対象地域内での人口10万人あたりの発生率を表す。

$$\text{粗罹患率} = \frac{\text{罹患数}}{\text{対象地域人口}} \times 100,000$$

例)

$$\text{徳島県の男女計 粗罹患率} = \frac{2,542}{817,000} \times 100,000 = 311.1$$

- 年齢調整罹患率は、地域毎に異なる年齢人口の違いをある基準人口に置き換え、比較するための手法。

$$\text{年齢調整罹患率} = \frac{[(\text{観察集団の各年齢の罹患率}) \times (\text{基準集団の年齢人口})] \text{の総和}}{\text{基準とする集団の総人口}}$$

平成15年分での例)

$$\begin{array}{rcl} & (1 \div 34,000) \times 10^5 \times 12,000 & \\ + & (2 \div 36,000) \times 10^5 \times 10,000 & \\ + & (3 \div 39,000) \times 10^5 \times 9,000 & \\ + & (1 \div 46,000) \times 10^5 \times 9,000 & \\ + & (2 \div 44,000) \times 10^5 \times 8,000 & \\ & | & \\ & | & \\ & | & \\ + & (431 \div 51,000) \times 10^5 \times 2,000 & \\ + & (426 \div 41,000) \times 10^5 \times 1,000 & \\ \text{徳島県の男女計} & + (774 \div 48,000) \times 10^5 \times 1,000 & \\ \text{年齢調整罹患率} & = \frac{\quad}{100,000} & \\ & = 112.6 & \end{array}$$

年齢調整罹患率を算出するにあたり、観察集団の各年齢階級の死亡率には、厚生労働省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)で公開されている平成15年の徳島県推計人口を使用し、標準人口には、世界モデル人口を用いたり、日本モデル人口を用いたりする例があるが、登録先進県などでは、世界人口が一般的に用いられているため、これにならい、世界モデル人口(old standard)を使用した。年齢調整死亡率には、全国値と比較する都合で、「昭和60年モデル人口」を使用している。

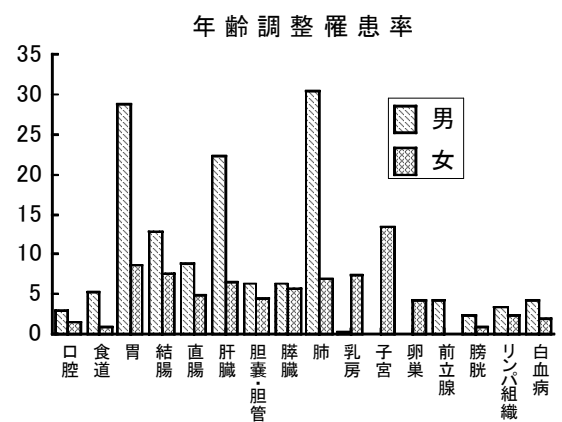
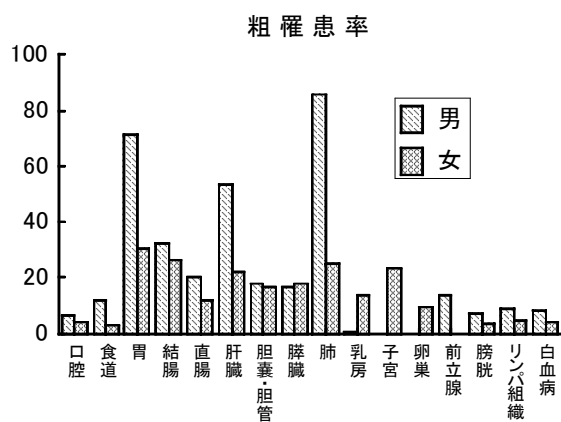
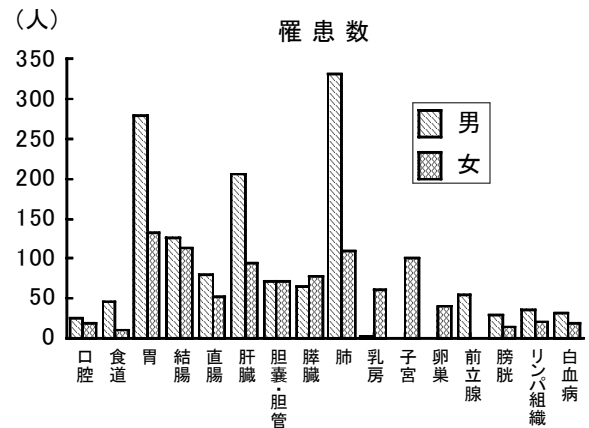
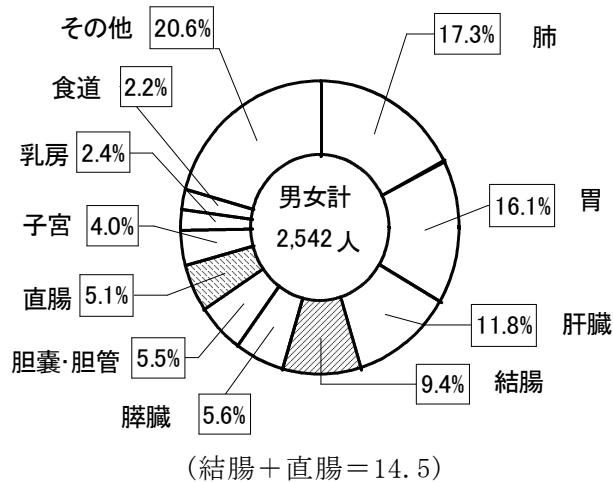
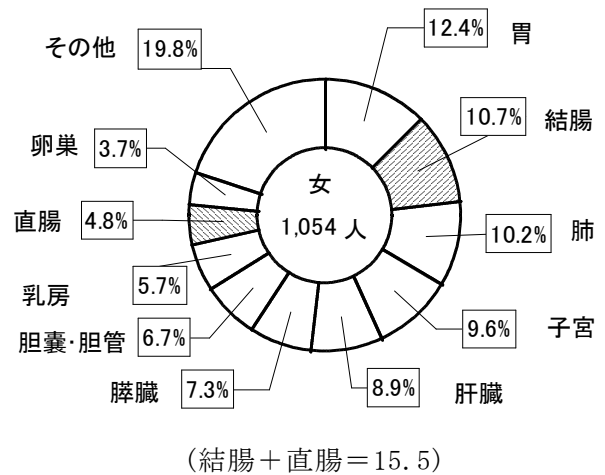
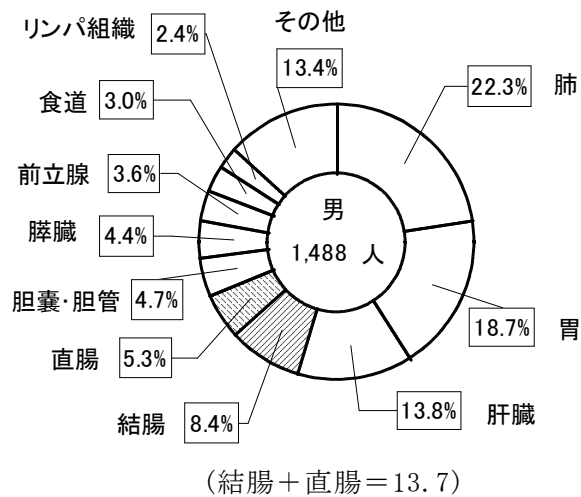
(1) 主要部位別罹患数，粗罹患率，年齢調整罹患率及び罹患割合

表 1

部位	死因簡単 分類コード	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
新生物	02000	1,488	1,054	2,542	383.5	245.1	310.8	150.2	85.8	112.6	100.0	100.0	100.0
全がん	02100	1,488	1,054	2,542	383.5	245.1	310.8	150.2	85.8	112.6	100.0	100.0	100.0
口腔・咽頭	02101	24	18	42	6.2	4.2	5.1	3.0	1.4	2.2	1.6	1.7	1.7
食道	02102	45	11	56	11.6	2.6	6.8	5.2	0.8	2.8	3.0	1.0	2.2
胃	02103	278	131	409	71.6	30.5	50.0	28.8	8.5	17.6	18.7	12.4	16.1
結腸	02104	125	113	238	32.2	26.3	29.1	12.8	7.4	9.7	8.4	10.7	9.4
直腸	02105	79	51	130	20.4	11.9	15.9	8.7	4.7	6.4	5.3	4.8	5.1
肝臓	02106	206	94	300	53.1	21.9	36.7	22.3	6.5	13.6	13.8	8.9	11.8
胆嚢・胆管	02107	70	71	141	18.0	16.5	17.2	6.3	4.3	5.1	4.7	6.7	5.5
膵臓	02108	65	77	142	16.8	17.9	17.4	6.2	5.6	5.8	4.4	7.3	5.6
喉頭	02109	4	-	4	1.0	-	0.5	0.5	-	0.2	0.3	-	0.2
肺	02110	332	108	440	85.6	25.1	53.8	30.5	6.8	16.8	22.3	10.2	17.3
皮膚	02111	5	5	10	1.3	1.2	1.2	0.6	0.2	0.4	0.3	0.5	0.4
乳房	02112	1	60	61	0.3	14.0	7.5	0.1	7.3	3.9	0.1	5.7	2.4
子宮	02113	-	101	101	-	23.5	12.3	-	13.4	7.0	-	9.6	4.0
卵巣	02114	-	39	39	-	9.1	4.8	-	4.1	2.2	-	3.7	1.5
前立腺	02115	54	-	54	13.9	-	6.6	4.2	-	1.6	3.6	-	2.1
膀胱	02116	28	15	43	7.2	3.5	5.3	2.2	0.8	1.4	1.9	1.4	1.7
中枢神経系	02117	8	8	16	2.1	1.9	2.0	1.6	1.4	1.5	0.5	0.8	0.6
リンパ組織	02118	35	21	56	9.0	4.9	6.8	3.4	2.2	2.6	2.4	2.0	2.2
白血病	02119	31	18	49	8.0	4.2	6.0	4.1	1.8	2.8	2.1	1.7	1.9

表 1 に，平成 1 5 年（2003 年）の新生物数とがん罹患数，粗罹患率，年齢調整罹患率を性別，主要部位別に示した。

表 1 の罹患数に基づき，次項に上位 1 0 位までの部位をグラフで表した。



(2) 主要部位別年齢調整罹患率の比較 ―徳島及び全国(推定値)―

表 2

部位	死因簡単 分類コード	年齢調整罹患率						年齢調整死亡率					
		男		女		徳島／全国		男		女		徳島／全国	
		徳島	全国	徳島	全国	男	女	徳島	全国	徳島	全国	男	女
全がん	02100	150.2	255.4	85.8	156.0	0.59	0.55	199.1	201.7	92.8	98.1	0.99	0.95
口腔	02101	3.0	—	1.4	—	—	—	2.8	4.6	0.7	1.2	0.61	0.58
食道	02102	5.2	9.0	0.8	1.3	0.58	0.62	6.4	10.3	1.0	1.3	0.62	0.77
胃	02103	28.8	75.3	8.5	32.0	0.38	0.27	36.1	34.5	10.9	13.2	1.05	0.83
結腸	02104	12.8	20.9	7.4	14.2	0.61	0.52	15.2	13.8	7.8	9.5	1.10	0.82
直腸	02105	8.7	14.8	4.7	8.1	0.59	0.58	9.8	9.0	4.9	4.0	1.09	1.23
肝臓	02106	22.3	25.4	6.5	6.6	0.88	0.98	29.7	25.5	9.2	8.1	1.16	1.14
胆嚢・胆管	02107	6.3	6.8	4.3	6.5	0.93	0.66	9.4	7.6	5.9	5.8	1.24	1.02
膵臓	02108	6.2	9.3	5.6	5.0	0.67	1.12	8.8	12.3	7.5	7.4	0.72	1.01
喉頭	02109	0.5	—	—	—	—	—	0.6	1.0	—	—	0.60	—
肺	02110	30.5	36.0	6.8	9.7	0.85	0.70	43.8	44.2	9.2	11.1	0.99	0.83
皮膚	02111	0.6	—	0.2	—	—	—	0.7	0.6	0.3	0.4	1.17	0.75
乳房	02112	0.1	—	7.3	27.1	—	0.27	0.1	—	8.0	10.9	—	0.73
子宮	02113	—	—	13.4	18.4	—	0.73	—	—	5.9	5.1	—	1.16
卵巣	02114	—	—	4.1	—	—	—	—	—	3.5	4.3	—	0.81
前立腺	02115	4.2	—	—	—	—	—	6.8	8.5	—	—	0.80	—
膀胱	02116	2.2	8.0	0.8	1.8	0.28	0.44	3.5	3.8	1.3	1.0	0.92	1.30
中枢神経系	02117	1.6	—	1.4	—	—	—	1.6	1.2	1.4	0.8	1.33	1.75
リンパ組織	02118	3.4	6.0	2.2	3.3	0.57	0.67	4.9	5.4	2.3	2.8	0.91	0.82
白血病	02119	4.1	5.1	1.8	3.4	0.80	0.53	4.6	4.8	2.0	2.8	0.96	0.71

全国年齢調整罹患率は、『「大阪府におけるがん登録」—1991年のがん罹患と医療—』^{文献2}から引用した。

全国年齢調整死亡率は、『2005年版「国民衛生の動向」』^{文献3}から引用した。

表2では、平成15年の徳島県の年齢調整罹患率と、全国の年齢調整罹患率（「大阪府におけるがん登録」から引用した1989年推定値）とを比較するとともに、年齢調整死亡率（2005年版「国民衛生の動向」から2003年値）を比較した。

前にも述べているが、当県と全国を比較するために、年齢調整罹患率には、「世界モデル人口」、年齢調整死亡率には、「昭和60年モデル人口」を使用して算出しているので、混乱をしないように注意が必要である。

当事業を開始するにあたり参考とした「大阪府におけるがん登録」^{文献2}もそうであったが、2005年版「国民衛生の動向」^{文献3}及び「平成15年 保健統計年報」^{文献4}と部位の集計を比較対照のために死因簡単分類コードで行っている。

(3) 年齢階級別罹患率，主要部位別，性別及び罹患時の平均年齢

表 3

年齢階級	全がん	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 組織	白血病
	02100	02102	02103	02104	02105	02106	02107	02108	02110	02112	02113	02114	02115	02116	02118	02119
男 0-19	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3
20-29	8.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3
30-39	8.5	2.1	2.1	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-
40-49	70.0	4.0	12.0	14.0	6.0	6.0	2.0	-	6.0	-	-	-	-	-	2.0	4.0
50-59	258.7	11.1	60.3	17.5	19.0	41.3	6.3	17.5	42.9	-	-	-	-	-	4.8	6.3
60-69	704.2	27.1	143.8	62.5	41.7	145.8	33.3	27.1	133.3	-	-	-	10.4	6.3	8.3	14.6
70-79	1,410.3	35.9	274.4	120.5	69.2	197.4	53.8	48.7	338.5	-	-	-	38.5	46.2	35.9	17.9
80以上	2,613.3	53.3	380.0	200.0	106.7	200.0	186.7	146.7	706.7	6.7	-	-	226.7	46.7	80.0	53.3
平均年齢	72.1	68.0	71.1	71.5	69.7	69.6	75.8	73.2	74.2	82.0	-	-	81.3	76.8	73.2	65.8
女 0-19	6.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3
20-29	14.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.4	-	-	-	4.2	-
30-39	36.0	-	4.0	2.0	-	2.0	-	-	2.0	6.0	16.0	2.0	-	-	-	-
40-49	94.2	-	3.8	1.9	5.8	3.8	-	5.8	3.8	19.2	26.9	7.7	-	1.9	1.9	-
50-59	161.9	-	12.7	23.8	17.5	6.3	9.5	7.9	9.5	12.7	25.4	11.1	-	-	4.8	1.6
60-69	334.5	7.3	34.5	21.8	16.4	32.7	20.0	27.3	25.5	32.7	38.2	23.6	-	1.8	3.6	10.9
70-79	579.2	7.5	79.2	77.4	32.1	66.0	34.0	39.6	69.8	20.8	37.7	13.2	-	7.5	11.3	9.4
80以上	1,157.6	9.1	175.8	130.3	33.3	103.0	109.1	100.0	145.5	30.3	51.5	21.2	-	27.3	21.2	15.2
平均年齢	72.6	73.7	76.3	75.6	69.0	74.5	78.4	74.8	76.1	64.1	61.2	66.9	-	81.1	68.7	71.3

表 3 では，年齢階級別の罹患率を性別と部位別に示す。罹患数からではよく判らなかったが，ほとんどの部位において，年齢の上昇にあわせて，罹患率も上昇している。

(4) 年齢階級別罹患順位，性別

表 4

		1 位	2 位	3 位
男	0-19	白血病	—	—
	20-29	白血病	—	—
	30-39	(食道，胃，直腸，リンパ組織) ¹		
	40-49	結腸	胃	(直腸，肝臓，肺) ³
	50-59	胃	肺	肝臓
	60-69	肝臓	肺	胃
	70-79	肺	胃	肝臓
	80以上	肺	胃	前立腺
女	0-19	白血病	—	—
	20-29	子宮	リンパ組織	—
	30-39	子宮	乳房	胃
	40-49	子宮	乳房	卵巣
	50-59	子宮	結腸	直腸
	60-69	子宮	胃	(肝臓，乳房) ³
	70-79	胃	結腸	肺
	80以上	胃	肺	結腸

“() ” は，同位を表し，上付き数字は，その順位を示す。

表 4 に，各年齢階級の上位 3 位までを示した。

(5) 保健所管内別の罹患

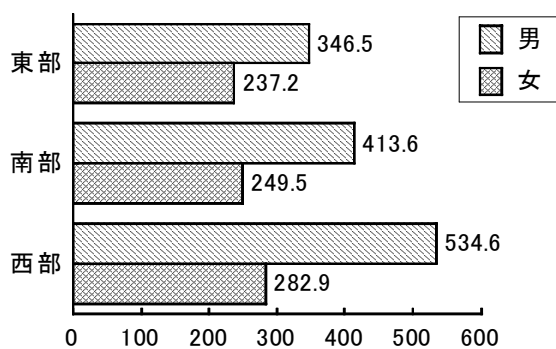
表 5

地域	罹患数			粗罹患率		
	男	女	計	男	女	計
徳島県	1,488	1,054	2,542	383.2	245.3	310.8
東部	905	686	1,591	346.5	237.2	289.1
徳島保健所	713	537	1,250	324.4	221.2	270.3
鴨島保健所	192	149	341	463.9	320.8	388.2
南部	331	218	549	413.6	249.5	327.9
阿南保健所	259	176	435	382.5	240.1	308.5
日和佐保健所	72	42	114	584.4	298.3	431.8
西部	252	150	402	534.6	282.9	401.4
穴吹保健所	121	86	207	530.3	335.1	427.0
池田保健所	131	64	195	538.7	234.0	377.4

住所不明者を除く。

粗罹患率の計算に使用した地域人口は、「平成15年 保健統計年報」^{文献4}から、平成15年10月1日現在の人口を使用している。

粗罹患率
(人口10万人あたりの発生率)



(6) 保健所管内別、主要部位別の罹患数

表 6 A

地域	新生物	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 組織	白血病
	02000	02102	02103	02104	02105	02106	02107	02108	02110	02112	02113	02114	02115	02116	02118	02119
徳島県	2,542	56	409	238	130	300	141	142	440	61	101	39	54	43	56	49
東部	1,591	37	248	153	82	196	88	89	254	38	77	22	32	26	37	29
徳島保健所	1,250	30	195	122	65	166	65	68	194	31	59	15	26	19	31	24
鴨島保健所	341	7	53	31	17	30	23	21	60	7	18	7	6	7	6	5
南部	549	9	91	52	29	69	33	26	95	20	11	8	12	9	13	12
阿南保健所	435	7	72	42	24	55	25	21	73	17	10	6	7	8	11	10
日和佐保健所	114	2	19	10	5	14	8	5	22	3	1	2	5	1	2	2
西部	402	10	70	33	19	35	20	27	91	3	13	9	10	8	6	8
穴吹保健所	207	2	36	21	13	17	11	16	41	1	5	7	6	7	4	4
池田保健所	195	8	34	12	6	18	9	11	50	2	8	2	4	1	2	4

住所不明者を除く。

医療圏別に保健所管内別、主要部位別の罹患数を表 6 A に示す。

表 6 B

地域	新生物	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 組織	白血病
	02000	02102	02103	02104	02105	02106	02107	02108	02110	02112	02113	02114	02115	02116	02118	02119
徳島県	310.8	6.8	50.0	29.1	15.9	36.7	17.2	17.4	53.8	7.5	12.3	4.8	6.6	5.3	6.8	6.0
東部	289.1	6.7	45.1	27.8	14.9	35.6	16.0	16.2	46.2	6.9	14.0	4.0	5.8	4.7	6.7	5.3
徳島保健所	270.3	6.5	42.2	26.4	14.1	35.9	14.1	14.7	41.9	6.7	12.8	3.2	5.6	4.1	6.7	5.2
鴨島保健所	388.2	8.0	60.3	35.3	19.4	34.2	26.2	23.9	68.3	8.0	20.5	8.0	6.8	8.0	6.8	5.7
南部	327.9	5.4	54.4	31.1	17.3	41.2	19.7	15.5	56.7	11.9	6.6	4.8	7.2	5.4	7.8	7.2
阿南保健所	308.5	5.0	51.1	29.8	17.0	39.0	17.7	14.9	51.8	12.1	7.1	4.3	5.0	5.7	7.8	7.1
日和佐保健所	431.8	7.6	72.0	37.9	18.9	53.0	30.3	18.9	83.3	11.4	3.8	7.6	18.9	3.8	7.6	7.6
西部	401.4	10.0	69.9	33.0	19.0	34.9	20.0	27.0	90.9	3.0	13.0	9.0	10.0	8.0	6.0	8.0
穴吹保健所	427.0	4.1	74.3	43.3	26.8	35.1	22.7	33.0	84.6	2.1	10.3	14.4	12.4	14.4	8.3	8.3
池田保健所	377.4	15.5	65.8	23.2	11.6	34.8	17.4	21.3	96.8	3.9	15.5	3.9	7.7	1.9	3.9	7.7

住所不明者を除く。

医療圏別に保健所管内別、主要部位別の粗罹患率を表 6 B に示す。

(7) 全がん罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率の推移

表 7

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	1,607	1,216	2,823	406.3	279.4	339.8	236.7	146.6	183.1	99.6	99.8	99.6
H6(1994)	1,538	1,101	2,639	388.9	253.0	317.0	224.2	128.1	166.7	99.7	99.3	99.5
H7(1995)	1,433	1,089	2,522	363.0	249.9	303.7	181.6	110.4	139.6	97.5	97.5	97.5
H8(1996)	1,560	1,138	2,698	395.2	261.2	324.9	196.5	110.6	146.3	99.9	99.6	99.8
H9(1997)	1,603	1,217	2,820	406.1	279.3	339.6	203.3	122.6	155.9	99.9	100.0	100.0
H10(1998)	1,530	1,026	2,556	387.6	235.5	307.8	191.9	93.5	135.0	100.0	99.9	100.0
H11(1999)	1,466	1,037	2,503	371.4	238.0	301.4	181.1	91.0	128.8	100.0	99.9	100.0
H12(2000)	1,479	1,054	2,533	377.6	243.8	307.4	164.9	86.0	119.4	100.0	99.7	99.9
H13(2001)	1,473	1,072	2,543	376.0	247.5	308.6	159.9	88.9	118.6	100.0	99.8	99.9
H14(2002)	1,460	1,119	2,579	374.4	259.6	314.1	153.4	89.9	116.9	100.0	100.0	100.0
H15(2003)	1,488	1,054	2,542	383.5	245.1	310.8	150.2	85.8	112.6	100.0	100.0	100.0

表 7 に、平成 5 年から平成 15 年までの全がん[ICD-10:C00-C97 (02100)]の罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率と罹患割合を示す。

(8) 主要部位別罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率の推移

表 8 A 食道

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	41	11	52	10.4	2.5	6.3	5.8	1.2	3.1	2.5	0.9	1.8
H6(1994)	34	10	44	8.6	2.3	5.3	5.1	0.9	2.6	2.2	0.9	1.7
H7(1995)	28	6	34	7.1	1.4	4.1	3.8	0.5	2.0	1.9	0.5	1.3
H8(1996)	34	13	47	8.6	3.0	5.7	4.4	1.1	2.6	2.2	1.1	1.7
H9(1997)	48	11	59	12.2	2.5	7.1	5.8	1.1	3.2	3.0	0.9	2.1
H10(1998)	38	12	51	9.9	2.8	6.1	5.1	1.0	2.9	2.5	1.2	2.0
H11(1999)	45	7	52	11.4	1.6	6.3	5.5	0.7	2.8	3.1	0.7	2.1
H12(2000)	54	13	67	13.8	3.0	8.1	6.0	0.8	3.1	3.7	1.2	2.6
H13(2001)	42	6	48	10.7	1.4	5.8	4.5	0.5	2.2	2.9	0.6	1.9
H14(2002)	42	8	50	10.8	1.9	6.1	4.7	0.5	2.4	2.9	0.7	1.9
H15(2003)	45	11	56	11.6	2.6	6.8	5.2	0.8	2.8	3.0	1.0	2.2

B 胃

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	392	213	605	99.1	48.9	72.8	57.4	23.9	38.1	24.3	17.5	21.4
H6(1994)	363	172	535	91.8	39.5	64.4	54.2	18.7	33.8	23.5	15.5	20.2
H7(1995)	342	200	542	86.6	45.9	65.3	42.9	19.7	29.4	23.3	17.9	21.0
H8(1996)	334	210	544	84.6	48.2	65.5	42.0	20.4	29.4	21.4	18.4	20.1
H9(1997)	348	206	554	88.2	47.3	66.7	43.6	20.6	30.3	21.7	16.9	19.6
H10(1998)	312	169	481	79.0	38.8	57.9	38.7	14.6	25.0	20.4	16.5	18.8
H11(1999)	293	172	465	74.2	39.5	56.0	35.3	15.2	23.6	20.0	16.6	18.6
H12(2000)	274	134	408	69.9	31.0	49.5	30.4	10.5	19.1	18.5	12.7	16.1
H13(2001)	250	141	391	63.8	32.6	47.4	26.6	11.1	17.5	17.0	13.2	15.4
H14(2002)	256	174	430	65.6	40.4	52.4	27.2	12.9	19.2	17.5	15.5	16.7
H15(2003)	278	131	409	71.6	30.5	50.0	28.8	8.5	17.6	18.7	12.4	16.1

C 結腸

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	115	105	220	29.1	24.1	26.5	17.4	11.3	14.0	7.1	8.6	7.8
H6(1994)	112	95	207	28.3	21.8	24.9	16.4	10.0	12.6	7.3	8.6	7.8
H7(1995)	102	98	200	25.8	22.5	24.1	13.1	9.2	10.9	6.9	8.8	7.7
H8(1996)	151	112	263	38.3	25.7	31.7	19.2	10.0	14.0	9.7	9.8	9.7
H9(1997)	104	108	212	26.3	24.8	25.5	13.3	10.9	11.8	6.5	8.9	7.5
H10(1998)	108	106	214	27.4	24.3	25.8	13.8	9.6	11.4	7.1	10.3	8.4
H11(1999)	94	116	210	23.8	26.6	25.3	11.7	9.6	10.6	6.4	11.2	8.4
H12(2000)	101	105	206	25.8	24.3	25.0	11.4	7.2	9.1	6.8	9.9	8.1
H13(2001)	101	95	196	25.8	22.0	23.8	10.5	6.8	8.3	6.9	8.9	7.7
H14(2002)	99	104	203	25.4	24.1	24.7	10.5	6.3	8.3	6.8	9.3	7.9
H15(2003)	125	113	238	32.2	26.3	29.1	12.8	7.4	9.7	8.4	10.7	9.4

D 直腸

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	105	64	169	26.5	14.7	20.3	16.1	7.6	11.3	6.5	5.3	6.0
H6(1994)	92	58	150	23.3	13.3	18.1	13.4	6.0	9.2	6.0	5.2	5.7
H7(1995)	77	54	131	19.5	12.4	15.9	10.0	5.7	7.6	5.2	4.8	5.1
H8(1996)	85	42	127	21.5	9.6	15.3	11.2	3.8	7.1	5.4	3.7	4.7
H9(1997)	70	45	115	17.7	10.3	13.8	9.1	3.6	6.1	4.4	3.7	4.1
H10(1998)	76	43	119	19.3	9.9	14.3	9.7	4.2	6.6	5.0	4.2	4.7
H11(1999)	66	40	106	16.7	9.2	12.8	8.4	4.0	5.9	4.5	3.9	4.2
H12(2000)	72	46	118	18.4	10.6	14.3	9.0	4.4	6.4	4.9	4.4	4.7
H13(2001)	55	35	90	14.0	8.1	10.9	6.5	3.0	4.6	3.7	3.3	3.5
H14(2002)	75	46	121	19.2	10.7	14.7	8.7	3.4	5.8	5.1	4.1	4.7
H15(2003)	79	51	130	20.4	11.9	15.9	8.7	4.7	6.4	5.3	4.8	5.1

E 肝臓

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	233	93	326	58.9	21.4	39.2	34.8	9.6	20.9	14.4	7.6	11.5
H6(1994)	205	72	277	51.8	16.5	33.3	30.3	8.1	17.7	13.3	6.5	10.5
H7(1995)	215	71	286	54.5	16.3	34.4	28.4	6.2	16.1	14.6	6.4	11.1
H8(1996)	215	95	310	54.5	21.8	37.3	28.3	7.5	17.1	13.8	8.3	11.5
H9(1997)	244	103	347	61.8	23.6	41.8	32.0	8.6	19.2	15.2	8.5	12.3
H10(1998)	212	110	322	53.7	25.2	38.8	27.5	8.9	17.4	13.9	10.7	12.6
H11(1999)	198	85	283	50.2	19.5	34.1	26.3	6.3	15.4	13.5	8.2	11.3
H12(2000)	226	105	331	57.7	24.3	40.2	27.3	8.8	17.2	15.3	9.9	13.1
H13(2001)	251	125	376	64.1	28.9	45.6	28.8	9.2	18.1	17.0	11.7	14.8
H14(2002)	231	107	338	59.2	24.8	41.2	26.3	7.1	16.0	15.8	9.6	13.1
H15(2003)	206	94	300	53.1	21.9	36.7	22.3	6.5	13.6	13.8	8.9	11.8

F 胆嚢・胆管

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	41	57	98	10.4	13.1	11.8	5.4	5.1	5.2	2.5	4.7	3.5
H6(1994)	47	66	113	11.9	15.2	13.6	6.4	5.8	6.1	3.0	6.0	4.3
H7(1995)	68	58	126	17.2	13.3	15.2	8.3	4.2	5.9	4.6	5.2	4.9
H8(1996)	47	78	125	11.9	17.9	15.1	5.6	6.1	5.9	3.0	6.8	4.6
H9(1997)	49	71	120	12.4	16.3	14.4	6.1	5.5	5.8	3.1	5.8	4.3
H10(1998)	56	56	112	14.2	12.9	13.5	6.2	3.9	4.9	3.7	5.5	4.4
H11(1999)	63	60	123	16.0	13.8	14.8	7.4	4.2	5.6	4.3	5.8	4.9
H12(2000)	53	82	135	13.5	19.0	16.4	5.1	4.5	4.7	3.6	7.8	5.3
H13(2001)	66	80	146	16.8	18.5	17.7	6.8	4.6	5.5	4.5	7.5	5.7
H14(2002)	55	68	123	14.1	15.8	15.0	5.1	4.5	4.7	3.8	6.1	4.8
H15(2003)	70	71	141	18.0	16.5	17.2	6.3	4.3	5.1	4.7	6.7	5.5

G 膵臓

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	46	57	103	11.6	13.1	12.4	6.7	5.3	6.0	2.9	4.7	3.6
H6(1994)	49	51	100	12.4	11.7	12.0	6.7	4.6	5.5	3.2	4.6	3.8
H7(1995)	73	80	153	18.5	18.4	18.4	8.8	5.8	7.1	5.0	7.2	5.9
H8(1996)	72	64	136	18.2	14.7	16.4	8.6	4.9	6.5	4.6	5.6	5.0
H9(1997)	61	77	138	15.5	17.7	16.6	7.3	6.0	6.5	3.8	6.3	4.9
H10(1998)	81	58	139	20.5	13.3	16.7	9.9	4.1	6.7	5.3	5.6	5.4
H11(1999)	89	73	162	22.5	16.8	19.5	10.7	5.7	7.8	6.1	7.0	6.5
H12(2000)	63	79	142	16.1	18.3	17.2	7.1	4.8	6.0	4.3	7.5	5.6
H13(2001)	69	79	148	17.6	18.3	18.0	7.7	5.3	6.4	4.7	7.4	5.8
H14(2002)	55	89	166	19.7	20.6	20.2	8.8	5.4	7.1	5.3	8.0	6.4
H15(2003)	65	77	142	16.8	17.9	17.4	6.2	5.6	5.8	4.4	7.3	5.6

H 肺

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	317	87	404	80.1	20.0	48.6	45.4	8.6	24.0	19.6	7.1	14.3
H6(1994)	348	120	468	88.0	27.6	56.3	47.7	12.1	26.6	22.6	10.8	17.7
H7(1995)	297	132	429	75.2	30.3	51.7	36.5	10.9	21.9	20.2	11.8	16.6
H8(1996)	335	138	473	84.9	31.7	57.0	40.4	11.7	23.8	21.5	12.1	17.5
H9(1997)	401	157	558	101.6	36.0	67.2	47.8	13.0	27.7	25.0	12.9	19.8
H10(1998)	359	113	472	90.9	25.9	56.8	42.8	9.4	23.3	23.5	11.0	18.5
H11(1999)	348	151	499	88.2	34.7	60.1	40.3	11.2	23.3	23.7	14.5	19.9
H12(2000)	378	127	505	96.5	29.4	61.3	39.3	9.4	21.9	25.6	12.0	19.9
H13(2001)	347	118	465	88.6	27.3	56.4	35.5	8.4	20.0	23.6	11.0	18.3
H14(2002)	321	137	458	82.3	31.8	55.8	30.1	9.7	18.1	22.0	12.2	17.8
H15(2003)	332	108	440	85.6	25.1	53.8	30.5	6.8	16.8	22.3	10.2	17.3

I 乳房

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	2	148	150	0.5	34.0	18.1	0.3	22.2	11.9	0.1	12.1	5.3
H6(1994)	1	123	124	0.3	28.3	14.9	0.2	17.6	9.4	0.1	11.1	4.7
H7(1995)	-	121	121	-	27.8	14.6	-	17.4	9.0	-	10.8	4.7
H8(1996)	1	112	113	0.3	25.7	13.6	0.1	15.0	7.9	0.1	9.8	4.2
H9(1997)	-	96	96	-	22.0	11.6	-	12.1	6.4	-	7.9	3.4
H10(1998)	-	80	80	-	18.4	9.6	-	9.6	5.1	-	7.8	3.1
H11(1999)	3	68	71	0.8	15.6	8.5	0.4	9.5	5.1	0.2	6.6	2.8
H12(2000)	-	75	75	-	17.3	9.1	-	9.4	4.9	-	7.1	3.0
H13(2001)	1	78	79	0.3	18.0	9.6	0.1	9.8	5.1	0.1	7.3	3.1
H14(2002)	-	83	83	-	19.3	10.1	-	10.2	5.3	-	7.4	3.2
H15(2003)	1	60	61	0.3	14.0	7.5	0.1	7.3	3.9	0.1	5.7	2.4

J 子宮

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	-	148	148	-	34.0	17.8	-	23.6	12.4	-	12.1	5.2
H6(1994)	-	98	98	-	22.5	11.8	-	14.8	7.9	-	8.8	3.7
H7(1995)	-	78	78	-	17.9	9.4	-	9.7	5.2	-	7.0	3.0
H8(1996)	-	59	59	-	13.5	7.1	-	6.7	3.6	-	5.2	2.2
H9(1997)	-	99	99	-	22.7	11.9	-	14.6	7.7	-	8.1	3.5
H10(1998)	-	69	69	-	15.8	8.3	-	7.5	4.1	-	6.7	2.7
H11(1999)	-	58	58	-	13.3	7.0	-	6.8	3.6	-	5.6	2.3
H12(2000)	-	55	55	-	12.7	6.7	-	6.1	3.3	-	5.2	2.2
H13(2001)	-	83	83	-	19.2	10.1	-	11.1	5.9	-	7.7	3.3
H14(2002)	-	97	97	-	22.5	11.8	-	11.7	6.2	-	8.7	3.8
H15(2003)	-	101	101	-	23.5	12.3	-	13.4	7.0	-	9.6	4.0

K 卵巢

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	-	98	98	-	22.5	11.8	-	14.8	7.9	-	8.8	3.7
H6(1994)	-	46	46	-	10.6	5.5	-	7.0	3.7	-	4.2	1.7
H7(1995)	-	34	34	-	7.8	4.1	-	4.0	2.1	-	3.0	1.3
H8(1996)	-	34	34	-	7.8	4.1	-	4.0	2.1	-	3.0	1.3
H9(1997)	-	51	51	-	11.7	6.1	-	6.6	3.5	-	4.2	1.8
H10(1998)	-	37	37	-	8.5	4.5	-	4.4	2.3	-	3.6	1.4
H11(1999)	-	29	29	-	6.7	3.5	-	2.8	1.5	-	2.8	1.2
H12(2000)	-	36	36	-	8.3	4.4	-	3.8	2.0	-	3.4	1.4
H13(2001)	-	32	32	-	7.4	3.9	-	3.6	1.9	-	3.0	1.3
H14(2002)	-	36	36	-	8.4	4.4	-	3.9	2.1	-	3.2	1.4
H15(2003)	-	39	39	-	9.1	4.8	-	4.1	2.2	-	3.7	1.5

L 前立腺

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	56	-	56	14.2	-	6.7	6.7	-	2.6	3.5	-	2.0
H6(1994)	55	-	55	13.9	-	6.6	6.8	-	2.7	3.6	-	2.1
H7(1995)	35	-	35	8.9	-	4.2	3.7	-	1.5	2.4	-	1.4
H8(1996)	54	-	54	13.7	-	6.5	5.6	-	2.1	3.5	-	2.0
H9(1997)	41	-	41	10.4	-	4.9	4.9	-	1.9	2.6	-	1.5
H10(1998)	47	-	47	11.9	-	5.7	5.1	-	1.9	3.1	-	1.8
H11(1999)	42	-	42	10.6	-	5.1	4.6	-	1.7	2.9	-	1.7
H12(2000)	48	-	48	12.3	-	5.8	4.3	-	1.5	3.2	-	1.9
H13(2001)	44	-	44	11.2	-	5.3	3.8	-	1.4	3.0	-	1.7
H14(2002)	55	-	55	14.1	-	6.7	4.5	-	1.7	3.8	-	2.1
H15(2003)	54	-	54	13.9	-	6.6	4.2	-	1.6	3.6	-	2.1

M 膀胱

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	30	10	40	7.6	2.3	4.8	4.5	0.8	2.4	1.9	0.8	1.4
H6(1994)	46	19	65	11.6	4.4	7.8	6.7	1.8	3.9	3.0	1.7	2.5
H7(1995)	19	7	26	4.8	1.6	3.1	2.2	0.4	1.1	1.3	0.6	1.0
H8(1996)	41	11	52	10.4	2.5	6.3	4.7	0.8	2.4	2.6	1.0	1.9
H9(1997)	18	9	27	4.6	2.1	3.3	2.1	0.4	1.2	1.1	0.7	1.0
H10(1998)	27	13	40	6.8	3.0	4.8	3.1	1.1	1.8	1.8	1.3	1.6
H11(1999)	22	8	30	5.6	1.8	3.6	2.5	0.4	1.2	1.5	0.8	1.2
H12(2000)	23	8	31	5.9	1.9	3.8	2.3	0.3	1.2	1.6	0.8	1.2
H13(2001)	24	5	29	6.1	1.2	3.5	2.4	0.2	1.2	1.6	0.5	1.1
H14(2002)	27	2	29	6.9	0.5	3.5	2.3	0.1	1.0	1.8	0.2	1.1
H15(2003)	28	15	43	7.2	3.5	5.3	2.2	0.8	1.4	1.9	1.4	1.7

N リンパ組織

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	34	21	55	8.6	4.8	6.6	5.1	2.5	3.6	2.1	1.7	1.9
H6(1994)	38	43	81	9.6	9.9	9.8	5.4	4.8	5.0	2.5	3.9	3.1
H7(1995)	27	16	43	6.8	3.7	5.2	3.3	1.9	2.4	1.8	1.4	1.7
H8(1996)	31	15	46	7.9	3.4	5.5	4.9	1.4	3.0	2.0	1.3	1.7
H9(1997)	27	24	51	6.8	5.5	6.1	3.4	2.2	2.7	1.7	2.0	1.8
H10(1998)	33	17	50	8.4	3.9	6.0	4.2	1.4	2.5	2.2	1.7	2.0
H11(1999)	36	33	69	9.1	7.6	8.3	4.8	2.7	3.7	2.5	3.2	2.8
H12(2000)	31	30	61	7.9	6.9	7.4	3.3	2.4	2.7	2.1	2.8	2.4
H13(2001)	42	29	70	10.7	6.7	8.6	5.0	2.2	3.5	2.9	2.7	2.8
H14(2002)	39	18	57	10.0	4.2	6.9	3.9	1.0	2.2	2.7	1.6	2.2
H15(2003)	35	21	56	9.0	4.9	6.8	3.4	2.2	2.6	2.4	2.0	2.2

O 白血病

罹患年	罹患数			粗罹患率			年齢調整罹患率			罹患割合(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H5(1993)	50	30	80	12.6	6.9	9.6	8.2	4.7	6.2	3.1	2.5	2.8
H6(1994)	26	19	45	6.6	4.4	5.4	5.0	2.8	3.8	1.7	1.7	1.7
H7(1995)	23	16	39	5.8	3.7	4.7	3.8	2.1	2.9	1.6	1.4	1.5
H8(1996)	18	18	36	4.6	4.1	4.3	3.0	2.1	2.5	1.2	1.6	1.3
H9(1997)	20	17	37	5.1	3.9	4.5	3.5	1.9	2.7	1.2	1.4	1.3
H10(1998)	39	19	58	9.9	4.4	7.0	7.0	2.4	4.5	2.5	1.9	2.3
H11(1999)	36	30	66	9.1	6.9	7.9	5.5	3.7	4.5	2.5	2.9	2.6
H12(2000)	25	25	50	6.4	5.8	6.1	4.2	2.9	3.5	1.7	2.4	2.0
H13(2001)	30	26	56	7.7	6.0	6.8	4.4	2.9	3.5	2.0	2.4	2.2
H14(2002)	32	30	62	8.2	7.0	7.6	4.8	3.5	4.1	2.2	2.7	2.4
H15(2003)	31	18	49	8.0	4.2	6.0	4.1	1.8	2.8	2.1	1.7	1.9

2 登録の精度

(1) 届出の精度

届出の精度は、指標に死亡票のみの者と罹患数との割合で出すDCO率、罹患数と死亡票で出すI/D比などで判断する。

- DCO率は、罹患数における死亡小票のみの者が占める割合から、生存症例の届出もれを示し、低い値ほど良いとされる。

$$DCO/I = \frac{\text{死亡小票のみ}}{\text{罹患数}} \times 100 \quad (\text{目標 } 20\% \text{以下})$$

例)

$$\text{徳島県の男女計 DCO率} = \frac{2,080}{2,542} \times 100 = 81.8\%$$

- 罹患数を死亡数で割ったものは、I/D比と呼ばれて、登録精度の指標として使われている。
I/D比は、死亡者と罹患数の比較から、がん患者の届出もれを示す。

$$I/D = \frac{\text{罹患数}}{\text{がん死亡小票}} \quad (\text{目標 } 1.5 \sim 2.0)$$

例)

$$\text{徳島県の男女計 I/D比} = \frac{2,542}{2,259} = 1.13$$

ア 死亡票のみの者の割合(%), 主要部位別

表 9

罹患年	全がん (02100)	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 組織	白血病
H5 (1993)	57.5	71.2	53.4	45.5	43.2	69.0	80.6	87.4	76.2	28.7	23.0	42.5	60.7	37.5	78.2	73.8
H6 (1994)	58.1	63.6	55.3	50.7	42.7	70.4	77.0	81.0	62.4	33.9	26.5	63.0	70.9	32.3	79.0	84.4
H7 (1995)	67.5	76.5	60.1	58.5	47.3	79.0	88.9	85.0	63.4	33.9	48.7	64.7	94.3	92.3	93.0	100.0
H8 (1996)	64.6	61.7	55.7	56.7	47.2	86.1	84.8	86.0	55.4	37.2	62.7	55.9	87.0	88.5	97.8	100.0
H9 (1997)	63.2	61.0	52.2	48.1	47.8	84.7	88.3	81.2	60.8	45.8	39.4	60.8	70.7	66.7	96.1	97.3
H10(1998)	73.7	80.4	67.6	58.4	55.5	90.4	89.3	89.2	62.3	61.3	68.1	67.6	89.4	87.5	98.0	91.4
H11(1999)	76.4	76.9	72.5	69.0	61.3	90.1	89.4	93.2	62.3	63.4	63.8	79.3	92.9	83.3	97.1	95.5
H12(2000)	80.3	86.6	75.7	68.0	72.0	88.8	93.3	93.7	75.8	72.0	67.3	63.9	89.6	90.3	98.4	94.0
H13(2001)	81.0	93.8	80.3	77.0	68.9	84.0	88.4	95.9	80.0	70.9	48.2	71.9	97.7	96.6	88.7	82.1
H14(2002)	80.8	92.0	78.6	70.4	72.7	81.1	86.2	96.4	86.9	63.9	44.3	69.4	100.0	96.6	87.7	95.2
H15(2003)	81.8	87.5	83.1	71.8	71.5	87.0	91.5	95.1	86.6	68.9	32.7	61.5	98.1	88.4	87.5	87.8

イ 患者の住所別にみた「死亡票のみの者の割合(%)」

表 1 0

罹患年	徳島県	東部	東部			南部	南部			西部	西部	
			徳島HC	鳴門HC	鴨島HC		小松島HC	阿南HC	日和佐HC		穴吹HC	池田HC
H5 (1993)	57.3	53.9	48.5	63.5	64.1	58.3	78.7	52.7	48.5	71.9	65.8	78.6
H6 (1994)	57.9	52.8	51.7	72.2	57.4	61.6	76.3	63.5	57.9	57.4	50.7	63.2
H7 (1995)	67.8	66.2	60.7	84.1	72.8	71.1	77.4	70.2	66.1	69.8	64.9	74.5
H8 (1996)	64.5	62.3	54.9	79.3	73.7	71.5	79.3	68.9	68.3	63.7	58.2	70.3
H9 (1997)	63.6	61.7	55.5	73.8	72.6	70.0	79.2	63.1	77.4	62.7	56.5	69.7
H10(1998)	73.7	73.7	70.0	80.0	79.1	75.8	84.6	72.5	72.8	70.3	64.5	77.1
H11(1999)	76.4	74.7	70.2	86.8	80.1	80.6	91.1	76.6	78.2	77.1	71.4	83.1
H12(2000)	80.3	80.7	80.2		82.8	78.3		78.9	76.1	81.8	72.0	92.2
H13(2001)	81.0	79.8	77.5		89.0	83.3		83.8	81.6	82.6	74.2	90.8
H14(2002)	80.8	77.6	75.9		85.3	84.5		82.9	90.1	89.1	84.6	93.0
H15(2003)	81.8	79.9	77.2		89.7	85.8		85.5	86.8	84.1	74.9	93.8

※ 'HC' は、保健所の意味で、その所轄地域を指し、住所不明者を除き集計した。

国際的に認められている D C O 率 (Death Certificate Only の略) を主要部位別に表 9 , 地域別に表 1 0 へ示した。この値が小さいほど届出の精度が高いと考えられている。

平成 1 1 年 4 月から、鳴門保健所を徳島保健所鳴門支所に、小松島保健所を阿南保健所小松島支所とする組織変更を行い 6 保健所となった。平成 1 5 年 4 月から、上板町を鴨島保健所管轄から徳島保健所管轄とした。また、平成 1 7 年 4 月から、小松島市、勝浦町、上勝町を阿南保健所管轄から徳島保健所管轄とした。名称が平成 18 年 4 月から、鴨島保健所を吉野川保健所、日和佐保健所を美波保健所、穴吹保健所を美馬保健所、池田保健所を三好保健所となった。

(2) 診断の精度

表 1 1 主要部位別細胞診又は組織診実施率(%)

罹患年	全がん (02100)	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ 組織	白血病
H5 (1993)	79.4	80.0	89.4	87.5	86.5	17.8	47.4	46.2	85.4	94.4	78.1	65.2	95.5	92.0	91.7	81.0
H6 (1994)	78.6	87.5	90.0	86.3	89.7	25.6	65.4	52.6	83.5	90.2	83.3	84.2	93.8	65.9	85.7	90.0
H7 (1995)	82.8	87.5	94.4	90.4	91.2	23.3	57.1	52.2	82.2	92.5	90.0	83.3	50.0	50.0	100.0	-
H8 (1996)	87.8	81.8	95.2	88.7	96.1	42.1	76.9	50.0	82.7	95.2	94.1	57.1	66.7	33.3	100.0	-
H9 (1997)	88.7	93.3	94.1	93.8	94.3	24.0	50.0	52.4	88.5	100.0	96.6	100.0	50.0	66.7	100.0	100.0
H10(1998)	85.6	100.0	93.5	93.3	93.8	18.2	75.0	33.3	82.4	100.0	94.1	100.0	-	0.0	-	75.0
H11(1999)	81.8	77.8	97.6	87.8	95.0	12.5	57.1	16.7	79.7	91.7	94.4	66.7	-	-	100.0	100.0
H12(2000)	80.9	100.0	98.4	86.5	77.3	24.0	66.7	66.7	77.8	100.0	80.0	88.9	-	50.0	100.0	50.0
H13(2001)	68.8	-	94.0	87.1	88.9	6.1	40.0	66.7	87.5	100.0	38.5	50.0	0.0	100.0	75.0	100.0
H14(2002)	68.8	75.0	97.1	90.7	95.8	18.2	41.7	40.0	70.8	81.8	36.5	57.1	-	100.0	100.0	100.0
H15(2003)	74.0	100.0	92.2	91.8	96.4	30.0	42.9	16.7	64.3	100.0	37.9	66.7	-	50.0	100.0	100.0

表 1 1 は、各部位毎に、届出のあった者のなかでの細胞診又は組織診の実施率を示す。この値が高いほど診断時の精度が高いとされている。

3 来院の動機

(1) 主要部位別来院の動機

表 1 2

部位	観察数	来院の動機の分布			
		自覚症状	検診	他医から	その他
新生物(02000)	308(100.0%)	108(35.1%)	74(24.0%)	106(34.4%)	18(5.8%)
全がん(02100)	308(100.0%)	108(35.1%)	74(24.0%)	106(34.4%)	18(5.8%)
食道	5(100.0%)	3(60.0%)	1(20.0%)	1(20.0%)	－
胃	51(100.0%)	23(45.1%)	16(31.4%)	7(13.7%)	5(9.8%)
結腸	49(100.0%)	18(36.7%)	21(42.9%)	10(20.4%)	－
直腸	28(100.0%)	10(35.7%)	15(53.6%)	3(10.7%)	－
肝臓	10(100.0%)	1(10.0%)	3(30.0%)	1(10.0%)	5(50.0%)
胆嚢・胆管	7(100.0%)	4(57.1%)	1(14.3%)	1(14.3%)	1(14.3%)
膵臓	6(100.0%)	5(83.3%)	－	1(16.7%)	－
肺	28(100.0%)	5(17.9%)	5(17.9%)	14(50.0%)	3(10.7%)
乳房	10(100.0%)	6(60.0%)	2(20.0%)	1(10.0%)	1(10.0%)
子宮	58(100.0%)	6(10.3%)	8(13.8%)	44(75.9%)	－
卵巣	12(100.0%)	5(41.7%)	1(8.3%)	6(50.0%)	－
前立腺	1(100.0%)	1(100.0%)	－	－	－
膀胱	2(100.0%)	1(50.0%)	－	1(50.0%)	－
リンパ組織	5(100.0%)	2(40.0%)	－	2(40.0%)	1(20.0%)
白血病	4(100.0%)	2(50.0%)	－	1(25.0%)	1(25.0%)

* 分布の未記入を除く。

患者の受診経緯を部位別に届出患者について調べ、判明者の分布を表 1 2 に示した。届出は、医療機関の自発的協力を頼っている関係で、“検診”が、過小に示されていると想像される。

届出の部位について、例として子宮部位を上げると罹患数としては、全国値との比較のため単純に子宮として集計しなければならないが、観察数では、子宮(頸部)と子宮(体部)を明示した記入で届出してもらえれば、一部再掲となるが、次のように分類が可能となる。

部位	観察数	来院の動機の分布			
		自覚症状	検診	他医から	その他
子宮	58(100.0%)	6(10.3%)	8(13.8%)	44(75.9%)	－
（頸部）	38(100.0%)	－	5(13.2%)	33(86.8%)	－
（体部）	17(100.0%)	5(29.4%)	3(17.6%)	9(52.9%)	－

* （頸部）と（体部）は、明示された届出からによる。分布の未記入を除く。

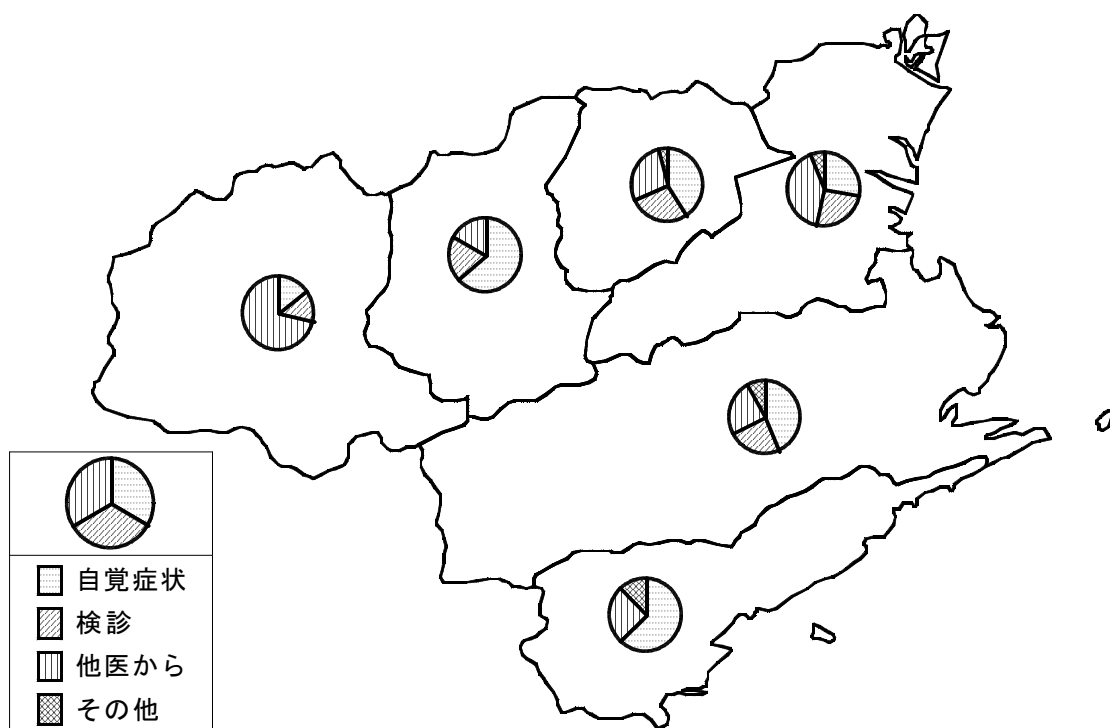
(2) 保健所管内別の来院の動機

表 1 3

地域	観察数	来院の動機の分布			
		自覚症状	検診	他医から	その他
徳島県	308 (100.0%)	108 (35.1%)	74 (24.0%)	106 (34.4%)	18 (5.8%)
東部	220 (100.0%)	63 (28.6%)	57 (25.9%)	84 (38.2%)	14 (6.4%)
徳島保健所	198 (100.0%)	54 (27.3%)	51 (25.8%)	78 (39.4%)	13 (6.6%)
鴨島保健所	22 (100.0%)	9 (40.9%)	6 (27.3%)	6 (27.3%)	1 (4.5%)
南部	45 (100.0%)	21 (46.7%)	9 (20.0%)	11 (24.4%)	4 (8.9%)
阿南保健所	37 (100.0%)	16 (43.2%)	9 (24.3%)	9 (24.3%)	3 (8.1%)
日和佐保健所	8 (100.0%)	5 (62.5%)	－	2 (25.0%)	1 (12.5%)
西部	43 (100.0%)	24 (55.8%)	8 (18.6%)	11 (25.6%)	－
穴吹保健所	36 (100.0%)	23 (63.9%)	7 (19.4%)	6 (16.7%)	－
池田保健所	7 (100.0%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	5 (71.4%)	－

* 住所不明者及び、分布の未記入を除く。

患者の受診経緯を地域別に届出患者について調べ、判明者の分布を表 1 3 に示した。



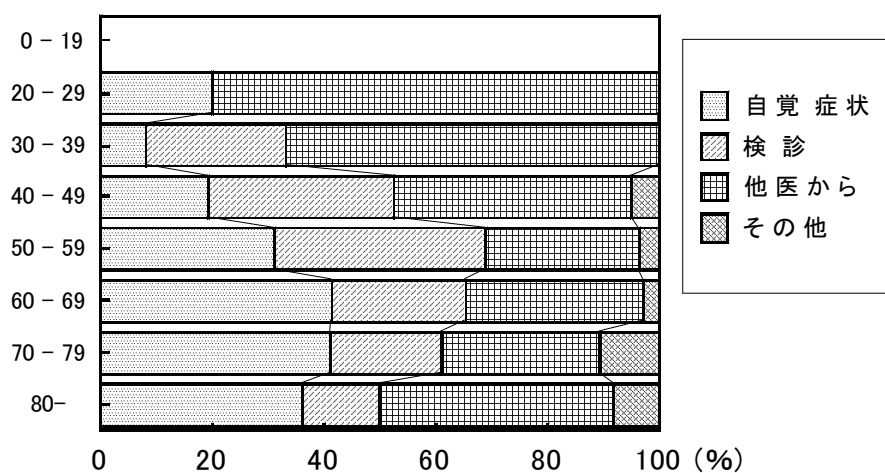
(3) 年齢階級別来院の動機

表 1 4

年齢階級	観察数	「来院の動機」の分布			
		自覚症状	検診	他医から	その他
全年齢	308 (100.0%)	108 (35.1%)	74 (24.0%)	106 (34.4%)	18 (5.8%)
0 - 1 9	-	-	-	-	-
2 0 - 2 9	5 (100.0%)	1 (20.0%)	-	4 (80.0%)	-
3 0 - 3 9	12 (100.0%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	8 (66.7%)	-
4 0 - 4 9	21 (100.0%)	4 (19.0%)	7 (33.3%)	9 (42.9%)	1 (4.8%)
5 0 - 5 9	58 (100.0%)	18 (31.0%)	22 (37.9%)	16 (27.6%)	2 (3.4%)
6 0 - 6 9	75 (100.0%)	31 (41.3%)	18 (24.0%)	24 (32.0%)	2 (2.7%)
7 0 - 7 9	86 (100.0%)	35 (40.7%)	17 (19.8%)	24 (27.9%)	9 (10.5%)
8 0 以上	51 (100.0%)	18 (35.3%)	7 (13.7%)	21 (41.2%)	4 (7.8%)

* 分布の未記入を除く。

患者の受診経緯を年齢階級別について調べ、判明者の分布を表 1 4 に示した。



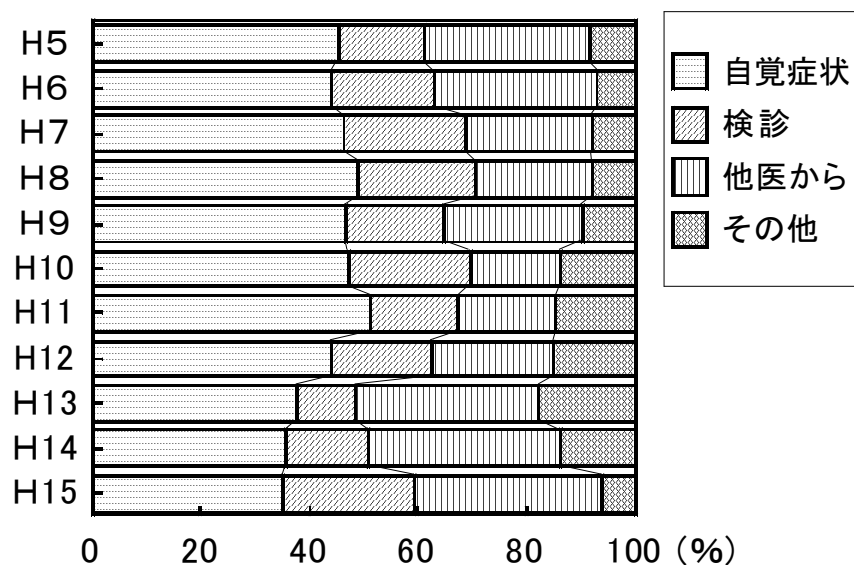
(4) 来院の動機の年次別推移

表 1 5

罹患年	観察数	来院の動機の分布			
		自覚症状	検診	他医から	その他
H5 (1993)	1,211 (100.0%)	548 (45.3%)	190 (15.7%)	370 (30.6%)	103 (8.5%)
H6 (1994)	1,116 (100.0%)	492 (44.1%)	206 (18.5%)	338 (30.3%)	75 (6.7%)
H7 (1995)	822 (100.0%)	377 (45.9%)	182 (22.1%)	189 (23.0%)	65 (7.9%)
H8 (1996)	710 (100.0%)	344 (48.9%)	151 (21.3%)	151 (21.3%)	55 (7.7%)
H9 (1997)	812 (100.0%)	371 (45.7%)	143 (17.6%)	200 (24.6%)	78 (9.6%)
H10 (1998)	424 (100.0%)	195 (46.0%)	93 (21.9%)	69 (16.3%)	57 (13.4%)
H11 (1999)	385 (100.0%)	193 (50.1%)	60 (15.6%)	67 (17.4%)	54 (14.0%)
H12 (2000)	312 (100.0%)	133 (42.6%)	56 (17.9%)	68 (21.8%)	45 (14.4%)
H13 (2001)	352 (100.0%)	131 (37.2%)	37 (10.5%)	117 (33.2%)	61 (17.3%)
H14 (2002)	352 (100.0%)	124 (35.2%)	53 (15.1%)	122 (34.7%)	48 (13.6%)
H15 (2003)	308 (100.0%)	108 (35.1%)	74 (24.0%)	106 (34.4%)	18 (5.8%)

分布の未記入分を除く。

表 1 5 に、来院の動機を年次別に示す。顕著な差は、見られなかった。



4 進行度

(1) 主要部位別の進行度

表 1 6

部位	観察数	進行度		判明者中の分布				
		不明	判明	早期	当該臓器に 限局	所属リンパ 節転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移
新生物(02000)	308(100.0%)	41(13.3%)	267(86.7%)	59(22.1%)	83(31.1%)	41(15.4%)	36(13.5%)	48(18.0%)
全がん(02100)	308(100.0%)	41(13.3%)	267(86.7%)	59(22.1%)	83(31.1%)	41(15.4%)	36(13.5%)	48(18.0%)
口腔	16(100.0%)	2(12.5%)	14(87.5%)	2(14.3%)	7(50.0%)	3(21.4%)	—	2(14.3%)
食道	5(100.0%)	3(60.0%)	2(40.0%)	1(50.0%)	—	1(50.0%)	—	—
胃	51(100.0%)	13(25.5%)	38(74.5%)	10(26.3%)	5(13.2%)	10(26.3%)	5(13.2%)	8(21.1%)
結腸	49(100.0%)	5(10.2%)	44(89.8%)	12(27.3%)	18(40.9%)	4(9.1%)	5(11.4%)	5(11.4%)
直腸	28(100.0%)	1(3.6%)	27(96.4%)	9(33.3%)	8(29.6%)	10(37.0%)	—	—
肝臓	10(100.0%)	2(20.0%)	8(80.0%)	—	7(87.5%)	—	—	1(12.5%)
胆嚢・胆管	7(100.0%)	1(14.3%)	6(85.7%)	—	3(50.0%)	1(16.7%)	—	2(33.3%)
脾臓	6(100.0%)	—	6(100%)	—	1(16.7%)	—	1(16.7%)	4(66.7%)
肺	28(100.0%)	4(14.3%)	24(85.7%)	3(12.5%)	8(33.3%)	2(8.3%)	2(8.3%)	9(37.5%)
乳房	10(100.0%)	1(10.0%)	9(90.0%)	2(22.2%)	3(33.3%)	—	1(11.1%)	3(33.3%)
子宮	58(100.0%)	1(1.7%)	57(98.3%)	17(29.8%)	16(28.1%)	4(7.0%)	17(29.8%)	3(5.3%)
卵巣	12(100.0%)	—	12(100%)	3(25.0%)	2(16.7%)	1(8.3%)	1(8.3%)	5(41.7%)
前立腺	1(100.0%)	1(100%)	—	—	—	—	—	—
膀胱	2(100.0%)	1(50.0%)	1(50.0%)	—	—	—	1(100%)	—
リンパ組織	5(100.0%)	—	5(100%)	—	—	3(60.0%)	—	2(40.0%)
白血病	4(100.0%)	1(25.0%)	3(75.0%)	—	—	1(33.3%)	1(33.3%)	1(33.3%)

診断時の臨床進行度（病巣の広がり）を届出患者について調べ、主要部位別に表 1 6 に示した。

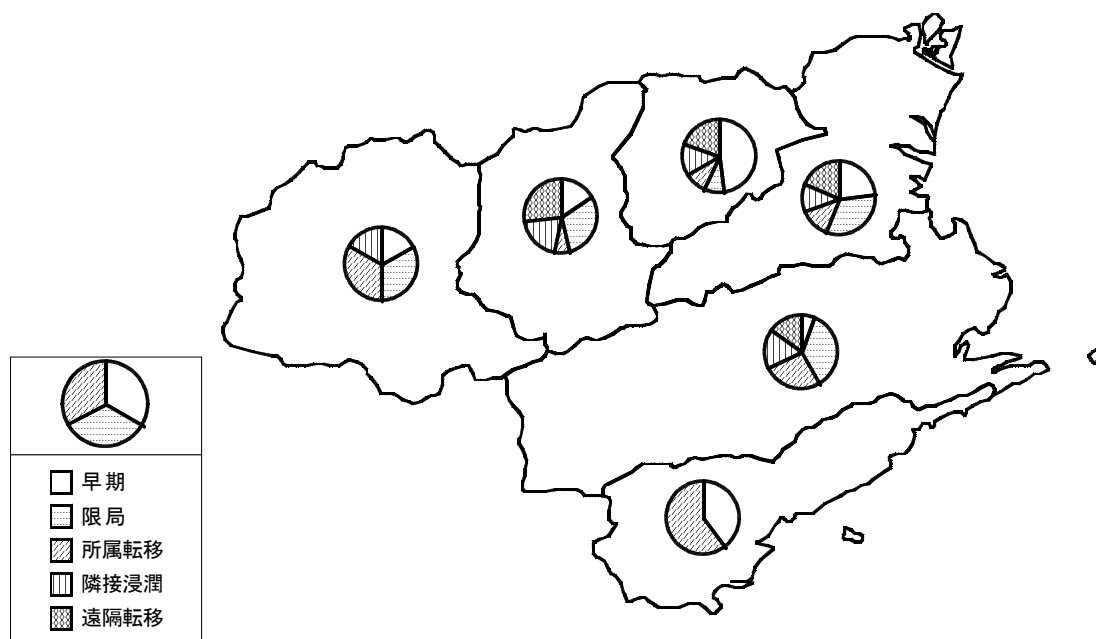
(2) 保健所管内別部位別の進行度

表 1 7

地域	観察数	進行度		判明者中の分布				
		不明	判明	早期	限局	所属リンパ 節転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移
徳島県	308 (100.0%)	41 (13.3%)	267 (86.7%)	59 (22.1%)	83 (31.1%)	41 (15.4%)	36 (13.5%)	48 (18.0%)
東部	220 (100.0%)	24 (10.9%)	196 (89.1%)	50 (25.5%)	61 (31.1%)	25 (12.8%)	24 (12.2%)	36 (18.4%)
徳島保健所	198 (100.0%)	23 (11.6%)	175 (88.4%)	40 (22.9%)	59 (33.7%)	23 (13.1%)	21 (12.0%)	32 (18.3%)
鴨島保健所	22 (100.0%)	1 (4.5%)	21 (95.5%)	10 (47.6%)	2 (9.5%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	4 (19.0%)
南部	45 (100.0%)	6 (13.3%)	39 (86.7%)	4 (10.3%)	12 (30.8%)	12 (30.8%)	6 (15.4%)	5 (12.8%)
阿南保健所	37 (100.0%)	3 (8.1%)	34 (91.9%)	2 (5.9%)	12 (35.3%)	9 (26.5%)	6 (17.6%)	5 (14.7%)
日和佐保健所	8 (100.0%)	3 (37.5%)	5 (62.5%)	2 (40.0%)	—	3 (60.0%)	—	—
西部	43 (100.0%)	11 (25.6%)	32 (74.4%)	5 (15.6%)	10 (31.3%)	4 (12.5%)	6 (18.8%)	7 (21.9%)
穴吹保健所	36 (100.0%)	10 (27.8%)	26 (72.2%)	4 (15.4%)	8 (30.8%)	2 (7.7%)	5 (19.2%)	7 (26.9%)
池田保健所	7 (100.0%)	1 (14.3%)	6 (85.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	—

住所不明者を除く。

診断時の臨床進行度（病巣の広がり）を届出患者について調べ、地域別に表 1 7 に示した。つぎに保健所管内ごとに、進行度判明者の分布をグラフにした。

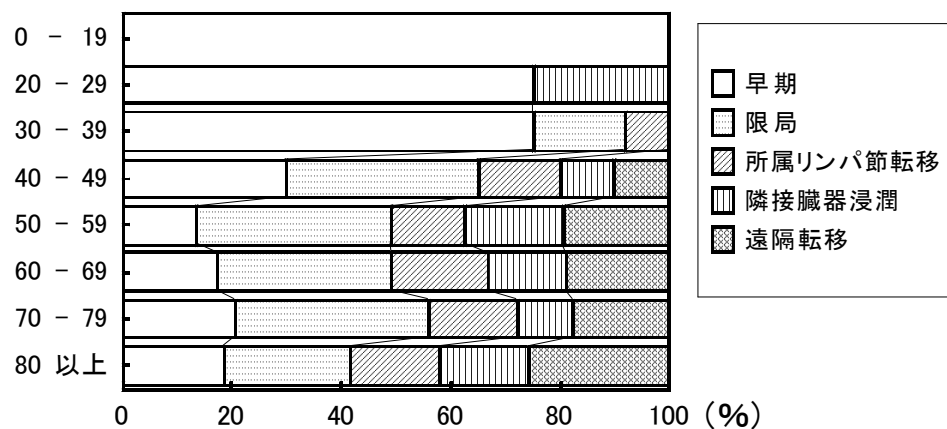


(3) 年齢階級別の進行度

表 1 8

年齢階級	観察数	進行度		判明者中の分布				
		不明	判明	早期	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移
全年齢	308(100.0%)	41(13.3%)	267(86.7%)	59(22.1%)	83(31.1%)	41(15.4%)	36(13.5%)	48(18.0%)
0 - 19	-	-	-	-	-	-	-	-
20 - 29	5(100.0%)	1(20.0%)	4(80.0%)	3(75.0%)	-	-	1(25.0%)	-
30 - 39	12(100.0%)	-	12(100.0%)	9(75.0%)	2(16.7%)	1(8.3%)	-	-
40 - 49	21(100.0%)	1(4.8%)	20(95.2%)	6(30.0%)	7(35.0%)	3(15.0%)	2(10.0%)	2(10.0%)
50 - 59	58(100.0%)	7(12.1%)	51(87.9%)	7(13.7%)	18(35.3%)	7(13.7%)	9(17.6%)	10(19.6%)
60 - 69	75(100.0%)	6(8.0%)	69(92.0%)	12(17.4%)	22(31.9%)	12(17.4%)	10(14.5%)	13(18.8%)
70 - 79	86(100.0%)	18(20.9%)	68(79.1%)	14(20.6%)	24(35.3%)	11(16.2%)	7(10.3%)	12(17.6%)
80 以上	51(100.0%)	8(15.7%)	43(84.3%)	8(18.6%)	10(23.3%)	7(16.3%)	7(16.3%)	11(25.6%)

年齢階級別の進行度を表 1 8 に示した。

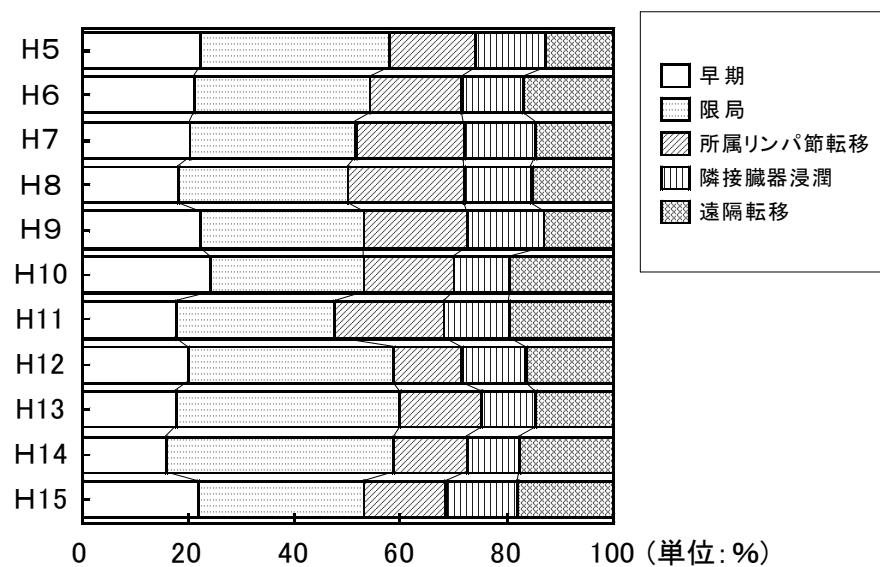


(4) 年次別の進行度

表 1 9

罹患年	観察数	進行度		判明者中の分布				
		不明	判明	早期	限局	所属リンパ 節転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移
H5 (1993)	1, 211 (100. 0%)	108 (8. 9%)	1, 103 (91. 1%)	247 (22. 4%)	392 (35. 5%)	181 (16. 4%)	143 (13. 0%)	140 (12. 7%)
H6 (1994)	1, 116 (100. 0%)	105 (9. 4%)	1, 011 (90. 6%)	214 (21. 2%)	336 (33. 2%)	174 (17. 2%)	118 (11. 7%)	169 (16. 7%)
H7 (1995)	822 (100. 0%)	38 (4. 6%)	784 (95. 4%)	161 (20. 5%)	243 (31. 0%)	159 (20. 3%)	106 (13. 5%)	115 (14. 7%)
H8 (1996)	710 (100. 0%)	62 (8. 7%)	648 (91. 3%)	118 (18. 2%)	207 (31. 9%)	142 (21. 9%)	81 (12. 5%)	100 (15. 4%)
H9 (1997)	812 (100. 0%)	95 (11. 7%)	717 (88. 3%)	160 (22. 3%)	221 (30. 8%)	139 (19. 4%)	104 (14. 5%)	93 (13. 0%)
H10 (1998)	424 (100. 0%)	57 (13. 4%)	367 (86. 6%)	89 (24. 3%)	106 (28. 9%)	62 (16. 9%)	39 (10. 6%)	71 (19. 3%)
H11 (1999)	385 (100. 0%)	74 (19. 2%)	311 (80. 8%)	55 (17. 7%)	93 (29. 9%)	64 (20. 6%)	38 (12. 2%)	61 (19. 6%)
H12 (2000)	312 (100. 0%)	63 (20. 2%)	249 (79. 8%)	50 (20. 1%)	96 (38. 6%)	32 (12. 9%)	30 (12. 0%)	41 (16. 5%)
H13 (2001)	352 (100. 0%)	45 (12. 8%)	307 (87. 2%)	54 (17. 6%)	130 (42. 3%)	47 (15. 3%)	31 (10. 1%)	45 (14. 7%)
H14 (2002)	352 (100. 0%)	51 (14. 5%)	301 (85. 5%)	48 (15. 9%)	129 (42. 9%)	41 (13. 6%)	30 (10. 0%)	53 (17. 6%)
H15 (2003)	308 (100. 0%)	41 (13. 3%)	267 (86. 7%)	59 (22. 1%)	83 (31. 1%)	41 (15. 4%)	36 (13. 5%)	48 (18. 0%)

表 1 9 に，年次別の進行度を示す。



(5) 来院動機による主要部位別の進行度

表 20 A 自覚症状

部位	判明者中の分布 (%)				
	早期	当該臓器に 限局	所属リンパ 節転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移
食道	—	—	100.0	—	—
胃	16.7	—	33.3	27.8	22.2
結腸	11.8	29.4	5.9	29.4	23.5
直腸	22.2	22.2	55.6	—	—
肝臓	—	—	—	—	100.0
胆嚢・胆管	—	25.0	25.0	—	50.0
膵臓	—	20.0	—	20.0	60.0
肺	—	25.0	25.0	—	50.0
乳房	—	33.3	—	16.7	50.0
子宮	—	33.3	33.3	16.7	16.7
卵巣	20.0	20.0	20.0	—	40.0
前立腺	—	—	—	—	—
膀胱	—	—	—	—	—
リンパ組織	—	—	50.0	—	50.0
白血病	—	—	—	—	100.0

B 検診から

部位	判明者中の分布 (%)				
	早期	当該臓器に 限局	所属リンパ 節転移	隣接臓器 浸潤	遠隔転移
食道	—	—	—	—	—
胃	50.0	40.0	—	—	10.0
結腸	40.0	50.0	5.0	—	5.0
直腸	46.7	33.3	20.0	—	—
肝臓	—	100.0	—	—	—
胆嚢・胆管	—	100.0	—	—	—
膵臓	—	—	—	—	—
肺	25.0	50.0	—	—	25.0
乳房	50.0	50.0	—	—	—
子宮	50.0	37.5	—	12.5	—
卵巣	—	—	—	100.0	—
前立腺	—	—	—	—	—
膀胱	—	—	—	—	—
リンパ組織	—	—	—	—	—
白血病	—	—	—	—	—

表 20 に、「自覚症状」と「検診から」の来院動機による、主要部位別進行度を示す。

5 検査及び治療

(1) 主要部位別比較

ア 部位別診断時検査実施率

表 2 1

部位	観察数	診断時検査率(%)						
		細胞診	組織診	X線	CT・MRI	超音波	内視鏡	腫瘍マーカー
新生物(02000)	308(100.0%)	16.6	70.8	11.4	31.8	7.1	36.0	11.0
全がん(02100)	308(100.0%)	16.6	70.8	11.4	31.8	7.1	36.0	11.0
食道	5(100.0%)	—	100.0	20.0	20.0	—	60.0	20.0
胃	51(100.0%)	7.8	90.2	21.6	25.5	7.8	88.2	11.8
結腸	49(100.0%)	4.1	89.8	8.2	10.2	2.0	63.3	6.1
直腸	28(100.0%)	—	96.4	7.1	10.7	—	78.6	7.1
肝臓	10(100.0%)	—	30.0	—	70.0	10.0	—	20.0
胆嚢・胆管	7(100.0%)	14.3	28.6	28.6	57.1	42.9	—	14.3
膵臓	6(100.0%)	16.7	—	—	50.0	33.3	—	33.3
肺	28(100.0%)	46.4	53.6	46.4	82.1	3.6	25.0	21.4
乳房	10(100.0%)	30.0	100.0	10.0	10.0	20.0	—	—
子宮	58(100.0%)	27.6	37.9	—	29.3	3.4	—	6.9
卵巣	12(100.0%)	8.3	58.3	—	33.3	16.7	—	8.3
前立腺	1(100.0%)	—	—	—	—	—	—	100.0
膀胱	2(100.0%)	50.0	—	—	50.0	50.0	—	—
リンパ組織	5(100.0%)	20.0	100.0	—	100.0	—	20.0	20.0
白血病	4(100.0%)	—	—	—	—	—	—	—

主要部位別に届出患者の検査内容の割合を表 2 1 に示す。

イ 主要部位別治療方法別入院率及び治療率

表 2 2

部位	観察数	治療方法(%)						入院
		手術療法	放射線療法	化学療法	ホルモン療法	免疫療法	TAE・アル コル注	
新生物(02000)	308(100.0%)	63.3	13.0	38.3	1.9	3.9	1.3	85.7
全がん(02100)	308(100.0%)	63.3	13.0	38.3	1.9	3.9	1.3	85.7
食道	5(100.0%)	60.0	－	20.0	－	－	－	100.0
胃	51(100.0%)	64.7	2.0	31.4	－	－	－	78.4
結腸	49(100.0%)	85.7	－	20.4	－	－	－	85.7
直腸	28(100.0%)	92.9	－	17.9	－	－	－	92.9
肝臓	10(100.0%)	40.0	－	－	－	－	30.0	100.0
胆嚢・胆管	7(100.0%)	57.1	－	14.3	－	－	－	100.0
膵臓	6(100.0%)	－	16.7	83.3	－	－	－	83.3
肺	28(100.0%)	28.6	17.9	39.3	－	－	3.6	89.3
乳房	10(100.0%)	80.0	20.0	50.0	50.0	－	－	100.0
子宮	58(100.0%)	74.1	31.0	44.8	－	－	－	77.6
卵巣	12(100.0%)	100.0	－	91.7	－	－	－	100.0
前立腺	1(100.0%)	－	－	－	－	－	－	－
膀胱	2(100.0%)	－	－	－	－	－	－	50.0
リンパ組織	5(100.0%)	20.0	40.0	80.0	－	－	－	100.0
白血病	4(100.0%)	－	－	75.0	25.0	－	－	100.0

主要部位別に届出患者の治療方法の割合を表 2 2 に示す。表の右には，入院率を示している。

(2) 年齢階級別比較

ア 年齢階級別主要部位別診断時検査実施率，入院率及び手術率

表 2 3 A 細胞診又は組織診

年齢階級	全がん (02100)	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
全年齢	74.0	100.0	92.2	91.8	96.4	30.0	42.9	16.7	64.3	100.0	37.9	66.7	-	50.0	100.0	100.0
0-19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20-29	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
30-39	50.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	14.3	100.0	-	-	-	-
40-49	57.1	-	-	100.0	100.0	-	-	-	50.0	100.0	20.0	100.0	-	-	100.0	-
50-59	74.1	100.0	90.9	100.0	100.0	33.3	50.0	-	100.0	100.0	25.0	33.3	-	-	100.0	-
60-69	77.3	100.0	100.0	92.3	100.0	50.0	-	-	80.0	100.0	35.7	75.0	-	-	-	100.0
70-79	81.4	100.0	84.2	87.5	100.0	33.0	66.7	50.0	80.0	100.0	66.7	-	-	50.0	100.0	-
80 以上	74.5	-	100.0	87.5	80.0	-	-	-	14.3	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0

B 内視鏡

年齢階級	全がん (02100)	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
全年齢	36.0	60.0	88.2	63.3	78.6	.	.	-	25.0	.	-	-	-	-	20.0	-
0-19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20-29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30-39	16.7	100.0	100.0	-	.	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40-49	19.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-
50-59	39.7	-	81.8	77.8	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
60-69	41.3	-	100.0	61.5	71.4	.	-	-	40.0	.	-	-	-	-	.	-
70-79	44.2	100.0	78.9	68.8	80.0	.	.	-	20.0	-	-	-	-	-	.	-
80 以上	25.5	-	100.0	50.0	60.0	.	-	-	.	-	-	-	-	-	-	-

C 入院

	全がん	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
年齢階級	(02100)						・胆管								組織	
全年齢	85.7	100.0	78.4	85.7	92.9	100.0	100.0	83.3	89.3	100.0	77.6	100.0	-	50.0	100.0	100.0
0-19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20-29	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
30-39	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
40-49	90.5	-	-	100.0	100.0	-	-	-	50.0	100.0	90.0	100.0	-	-	100.0	-
50-59	86.2	100.0	72.7	88.9	80.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	87.5	100.0	-	-	100.0	-
60-69	85.3	100.0	85.7	76.9	85.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	78.6	100.0	-	-	-	100.0
70-79	81.4	100.0	68.4	81.3	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	100.0	55.6	100.0	-	50.0	100.0	-
80 以上	86.3	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	85.7	100.0	33.3	100.0	-	-	100.0	100.0

D 手術率

	全がん	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
年齢階級	(02100)						・胆管								組織	
全年齢	63.3	60.0	64.7	85.7	92.9	40.0	57.1	-	28.6	80.0	74.1	100.0	-	-	20.0	-
0-19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20-29	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
30-39	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
40-49	71.4	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	50.0	90.0	100.0	-	-	-	-
50-59	70.7	-	63.6	88.9	100.0	66.7	-	-	50.0	50.0	87.5	100.0	-	-	-	-
60-69	72.0	100.0	78.6	84.6	100.0	50.0	100.0	-	40.0	100.0	78.6	100.0	-	-	-	-
70-79	57.0	50.0	57.9	81.3	90.0	33.3	66.7	-	30.0	100.0	44.4	100.0	-	-	100.0	-
80 以上	39.2	-	50.0	87.5	80.0	-	100.0	-	14.3	100.0	16.7	100.0	-	-	-	-

イ 保健所管内別主要部位別診断時検査実施率，入院率及び手術率

表 2 4 A 細胞診又は組織診

地域	全がん (02100)	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
徳島県	74.0	100.0	92.2	91.8	96.4	30.0	42.9	16.7	64.3	100.0	37.9	66.7	.	50.0	100.0	100.0
東部	71.8	100.0	90.3	94.1	95.2	20.0	60.0	33.3	68.0	100.0	31.3	50.0	-	-	100.0	100.0
徳島保健所	71.7	100.0	90.0	93.8	95.0	20.0	60.0	50.0	66.7	100.0	26.3	.	-	-	100.0	100.0
鴨島保健所	72.7	-	100.0	100.0	100.0	-	-	.	100.0	-	50.0	100.0	-	-	-	-
南部	88.9	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	.	.	-	100.0	100.0	-	.	-	-	-
阿南保健所	91.9	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	.	.	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-
日和佐保健所	75.0	-	100.0	100.0	-	100.0	.	-	-	100.0	-	-	.	-	-	-
西部	69.8	100.0	90.0	66.7	100.0	-	-	.	33.3	100.0	57.1	100.0	-	50.0	-	-
穴吹保健所	69.4	100.0	87.5	66.7	100.0	-	-	.	33.3	100.0	66.7	100.0	-	50.0	-	-
池田保健所	71.4	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

住所不明者を除く。

B 内視鏡

地域	全がん (02100)	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 ・胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
徳島県	36.0	60.0	88.2	63.3	78.6	.	.	.	25.0	.	.	.	.	.	20.0	.
東部	33.2	33.3	83.9	61.8	76.2	.	.	.	28.0	.	.	.	-	-	20.0	.
徳島保健所	34.8	33.3	83.3	59.4	75.0	.	.	.	29.2	.	.	.	-	-	20.0	.
鴨島保健所	18.2	-	100.0	100.0	100.0	-	-	.	.	-	.	.	-	-	-	-
南部	48.9	100.0	90.0	77.8	83.3	.	.	.	-	.	.	.	-	-	-	-
阿南保健所	51.4	100.0	88.9	71.4	83.3	.	.	.	-	.	.	-	-	-	-	-
日和佐保健所	37.5	-	100.0	100.0	-	.	.	-	-	.	-	-	.	-	-	-
西部	37.2	100.0	100.0	50.0	100.0	.	-	.	.	.	.	.	-	.	-	-
穴吹保健所	38.9	100.0	100.0	50.0	100.0	.	-	.	.	.	.	.	-	.	-	-
池田保健所	28.6	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	.	-	-	-	-	-

住所不明者を除く。

C 入院

	全がん	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
地域	(02100)						・胆管								組織	
徳島県	85.7	100.0	78.4	85.7	92.9	100.0	100.0	83.3	89.3	100.0	77.6	100.0	.	50.0	100.0	100.0
東部	90.0	100.0	83.9	88.2	90.5	100.0	100.0	100.0	96.0	100.0	83.3	100.0	-	-	100.0	100.0
徳島保健所	89.4	100.0	86.7	87.5	90.0	100.0	100.0	100.0	95.8	100.0	78.9	100.0	-	-	100.0	100.0
鴨島保健所	95.5	-	.	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
南部	84.4	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	.	-	.	-	-	-
阿南保健所	86.5	100.0	77.8	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100.0	.	-	-	-	-	-
日和佐保健所	75.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	.	-	-	-
西部	65.1	100.0	60.0	50.0	50.0	100.0	-	50.0	33.3	100.0	71.4	100.0	-	50.0	-	-
穴吹保健所	66.7	100.0	62.5	50.0	50.0	100.0	-	50.0	33.3	100.0	100.0	100.0	-	50.0	-	-
池田保健所	57.1	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

住所不明者を除く。

D 手術率

	全がん	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	前立腺	膀胱	リンパ	白血病
地域	(02100)						・胆管								組織	
徳島県	63.3	60.0	64.7	85.7	92.9	40.0	57.1	.	28.6	80.0	74.1	100.0	.	.	20.0	.
東部	64.1	33.3	67.7	88.2	95.2	20.0	40.0	.	32.0	100.0	79.2	100.0	-	-	20.0	.
徳島保健所	61.1	33.3	66.7	87.5	95.0	20.0	40.0	.	29.2	100.0	73.7	100.0	-	-	20.0	.
鴨島保健所	90.9	-	100.0	100.0	100.0	-	-	.	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-
南部	73.3	100.0	60.0	100.0	83.3	100.0	100.0	.	-	83.3	.	-	.	-	-	-
阿南保健所	70.3	100.0	55.6	100.0	83.3	100.0	100.0	.	-	80.0	.	-	-	-	-	-
日和佐保健所	87.5	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	.	-	-	-
西部	48.8	100.0	60.0	50.0	100.0	.	-	.	.	.	71.4	100.0	-	.	-	-
穴吹保健所	47.2	100.0	50.0	50.0	100.0	.	-	.	.	.	100.0	100.0	-	.	-	-
池田保健所	57.1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-

住所不明者を除く。

6 手術内容

進行度別，主要部位別手術内容

表 2 5

部位	手術数	進行度別の分布(%)											
		分布(%)		早期		当該臓器に局限		所属リンパ節転移		隣接臓器浸潤		遠隔転移	
		治癒	非治癒	治癒	非治癒	治癒	非治癒	治癒	非治癒	治癒	非治癒	治癒	非治癒
全がん(02100)	195	6.7	12.3	1.5	-	3.1	0.5	2.1	2.6	-	3.6	-	5.1
食道	3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
胃	33	15.2	6.1	3.0	-	6.1	-	6.1	-	-	3.0	-	3.0
結腸	42	4.8	14.3	2.4	-	-	-	2.4	-	-	4.8	-	9.5
直腸	26	3.8	7.7	3.8	-	-	-	-	7.7	-	-	-	-
肝臓	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胆嚢・胆管	4	-	25.0	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-
膵臓	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肺	8	37.5	-	-	-	37.5	-	-	-	-	-	-	-
乳房	8	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5
子宮	43	-	9.3	-	-	-	-	-	2.3	-	4.7	-	2.3
卵巣	12	-	41.7	-	-	-	8.3	-	8.3	-	-	-	25.0
前立腺	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膀胱	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リンパ組織	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
白血病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※「治癒」の中に、「内視鏡的切除」を含めた。「その他」は，除いた。

手術を受けた者で，主要部位別に進行度が判明している者について，手術内容を，内視鏡的切除を含む「治癒」と「非治癒」に分け，進行度別に表 2 5 に示す。

7 死亡及び罹患内容

悪性新生物死亡数，粗死亡率，年齢調整死亡率及び罹患数と死亡数の比

表 2 6

部位	死因簡単 分類コード	数		粗率		年齢調整率		罹患数 ／死亡数	死亡数 ／罹患数
		罹患	死亡	罹患	死亡	罹患	死亡		
新生物	02000	2,542	—	310.8	—	—	—	—	—
全がん	02100	2,542	2,259	310.8	276.2	112.6	137.1	1.13	0.89
口腔	02101	42	26	5.1	3.2	2.2	1.7	1.62	0.62
食道	02102	56	51	6.8	6.2	2.8	3.4	1.10	0.91
胃	02103	409	364	50.0	44.5	17.6	21.9	1.12	0.89
結腸	02104	238	192	29.1	23.5	9.7	11.1	1.24	0.81
直腸	02105	130	102	15.9	12.5	6.4	7.0	1.27	0.78
肝臓	02106	300	291	36.7	35.6	13.6	18.4	1.03	0.97
胆嚢・胆管	02107	141	135	17.2	16.5	5.1	7.3	1.04	0.96
膵臓	02108	142	137	17.4	16.7	5.8	8.0	1.04	0.96
肺	02110	440	416	53.8	50.9	16.8	23.4	1.06	0.95
乳房	02112	61 (60)	52 (51)	7.5 (14.0)	6.4 (11.9)	3.9 (7.3)	4.3 (8.0)	1.17	0.85
子宮	02113	101	44	12.3 (23.5)	5.4 (10.2)	7.0 (13.4)	3.2 (5.9)	2.30	0.44
卵巣	02114	39	28	4.8 (9.1)	3.4 (6.5)	2.2 (4.1)	1.9 (3.5)	1.39	0.72
前立腺	02115	54	53	6.6 [13.9]	6.5 [13.7]	1.6 [4.2]	2.4 [6.8]	1.02	0.98
膀胱	02116	43	42	5.3	5.1	1.4	2.2	1.02	0.98
リンパ組織	02118	56	52	6.8	6.4	2.6	3.3	1.08	0.93
白血病	02119	49	45	6.0	5.5	2.8	3.2	1.09	0.92

“[]” 内の数値は，男性のみで計算し，“()” 内の数値は，女性のみで計算した。

罹患数と死亡数の比較を主要部位別に表 2 6 に示す。

この表では，罹患数のうち，大部分が死亡しているようになっているが，死亡者中に届出のあった数は，10分の1ほどにとどまり，死亡者の比率が過大に表れていると思われる。

年齢調整率の計算には，罹患と死亡の比較のため，どちらも世界人口モデルを使って計算した。

部位別の死亡数は，死亡届からでなく，当事業に届出された部位で集計したので，「平成15年保健統計年報」^{文献4}の主要死因と異なる死亡者数となっている。

参考資料

○ 登録評価等部会委員名簿（H20.03.31 現在）

◎ …… 部会長または委員長

● …… 職務代理者

就任	氏 名	現 職	委員	(兼)
H19. 4. 1	大塚 明 廣	(社)徳島県医師会副会長	○	大
H13. 3. 1	香 川 征	徳島大学医学部・歯学部附属病院 病院長	○	
H11. 3. 8	岸 恭 也	(財)徳島県総合健診センター嘱託医	○	子
H16. 4. 1	木下 成 三	(社)徳島県医師会常任理事	●	肺
H13. 3. 1	倉 橋 佳 英	南部総合県民局保健福祉環境部副部長兼美波保健所長	○	
H16. 4. 1	近 藤 和 也	徳島大学医学部保健学科教授	○	肺
H6.10.31	相 良 安 信	(財)徳島県総合健診センター所長	◎	胃
H19. 4. 1	佐 竹 宣 法	徳島県立中央病院医療局検査診断科医長	○	
H13. 3. 1	寺 嶋 吉 保	徳島大学院ヘルスバイオサイエンス研究部准教授	○	大
H19. 4. 1	仁 木 敏 晴	(社)徳島県医師会常任理事	○	循
H19. 4. 1	野 村 昌 弘	徳島大学総合科学部教授	○	循
H19. 1.30	藤 原 晴 夫	徳島県厚生農業協同組合連合会 阿波病院副院長	○	乳

(順不同)

○ これまでに辞任された委員の任期と当時の職

任 期	氏 名	任期中の役職
H4. 3.12 - 4. 3.31	伊 井 邦 雄	徳島大学医学部助教授 (第一病理)
H4. 3.12 - 5. 3.12	松 村 光 博	徳島市民病院主任医長
H4. 3.12 - 5. 9.22	田 村 禎 通	国立療養所東徳島病院内科医長
H4. 3.12 - 5. 9.30	藤 野 和 也	(財)徳島県総合健診センター健診部医長
H4. 3.12 - 6. 3.31	原 田 邦 彦	(財)徳島県総合健診センター所長
H4. 3.12 - 6. 8.25	大木元 繁	徳島県保健予防課技師
H4. 3.12 - 6.11.30	曾 根 三 郎	徳島大学医学部講師 (第三内科)
H4. 3.12 - 7. 5.18	米 田 勝	(社)徳島県医師会常任理事(日本母性保護医協会徳島県副支部長)
H4. 3.12 - 7. 8. 7	佐 野 寿 昭	徳島大学医学部講師 (第一病理)
H4. 7. 1 - 6. 9. 2	國 友 一 史	徳島大学医学部講師 (第一外科)
H4. 3.12 - 8. 3.31	藤 岡 義 郎	(社)徳島県医師会常任理事 (地域医療担当)
H4. 3.12 - 8. 8. 8	西 條 進	(社)徳島県医師会副会長
H7. 9.11 -10. 7.30	広 瀬 隆 則	徳島大学医学部講師 (第一病理)

H4. 3.12 -10.11.13	西 田 善 彦	徳島大学医学部附属病院講師 (第一内科)
H4. 3.12 -11. 3.31	佐 野 暢 哉	徳島大学医学部助教授 (第二病理)
H4. 3.12 -11.10. 1	清 水 英 治	徳島大学医学部講師 (第三内科)
H4. 3.12 -13. 3.31	森 本 忠 興	徳島大学医療技術短期大学部教授
H7. 9.11 -13. 6.30	石 井 敏 博	(財)徳島県総合健診センター健診部医長
H8. 9.19 -14. 3.31	日比野 敏 行	(社)徳島県医師会常任理事 (地域医療担当)
H13. 3. 1 -14. 3.31	佐 竹 宣 法	徳島大学医学部助手 (第二病理)
H6. 1.28 -14. 3.31	清 水 一 郎	徳島大学医学部附属病院講師 (第二内科)
H4. 3.12 -14. 3.31	佐々木 春 夫	(財)徳島県総合健診センター健診部医長
H10.11.26 -14. 3.31	三ツ井 貴 夫	徳島大学医学部附属病院講師 (第一内科)
H6.12. 1 -14. 3.31	大 串 文 隆	徳島大学医学部助教授 (第三内科)
H4. 3.12 -14. 3.31	斎 藤 泰 憲	徳島県鴨島保健所長
H4. 6. 1 -14. 3.31	石 本 寛 子	徳島県穴吹保健所長
H8. 9.19 -16. 3.31	松 崎 孝 世	(社)徳島県医師会常任理事
H4. 3.12 -16. 3.31	中 川 利 一	(社)徳島県医師会常任理事
H4. 3.12 -16. 3.31	三 河 浩 一	(社)徳島県医師会心臓病検診委員会委員長
H14. 5. 1 -16. 3.31	斎藤 晴比古	(社)徳島県医師会常任理事 (地域医療担当)
H13. 3. 1 -16. 3.31	吉 田 秀 策	徳島大学医学部助教授 (生体防御腫瘍医学)
H13. 3. 1 -16. 3.31	佐 野 壽 昭	徳島大学医学部教授 (器官病態修復医学)
H4. 3.12 -17. 3.31	仁 木 敏 晴	徳島県立中央病院院長
H13. 3. 1 -17. 3.31	西 角 彰 良	徳島大学病院講師 (循環器内科)
H10. 8.18 -18. 3.31	高 橋 正 倫	徳島県立中央病院中央検査部長
H13. 3. 1 -18. 3.31	駒 木 幹 正	徳島大学病院講師 (乳腺外科)
H16. 4. 1 -19. 3.31	武 久 一 郎	(社)徳島県医師会副会長
H18. 4. 1 -19. 3.31	山 本 洋 介	徳島県立中央病院医療局検査診断科部長
H4. 3.12 -19. 3.31	本 藤 秀 樹	徳島県立中央病院副院長
H16. 4. 1 -19. 3.31	河 野 知 弘	(社)徳島県医師会常任理事 (地域医療担当)
H13. 3. 1 -19. 3.31	宇 野 昌 明	徳島大学医学部講師
H17. 4. 1 -19. 3.31	添 木 武	徳島大学病院講師

○ 徳島県の市町村と管轄保健所

県域	保健所	市町村
東部	徳島保健所	徳島市, 鳴門市, 佐那河内村, 石井町, 神山町, 松茂町, 北島町, 藍住町, 板野町, 上板町
	鴨島保健所	吉野町, 土成町, 市場町, 阿波町, 鴨島町, 川島町, 山川町, 美郷村
南部	阿南保健所	小松島市, 阿南市, 勝浦町, 上勝町, 那賀川町, 羽ノ浦町, 鷺敷町, 相生町, 上那賀町, 木沢村, 木頭村
	日和佐保健所	由岐町, 日和佐町, 牟岐町, 海南町, 海部町, 穴喰町
西部	穴吹保健所	木屋平村, 脇町, 美馬町, 半田町, 貞光町, 一字村, 穴吹町
	池田保健所	三野町, 三好町, 池田町, 山城町, 井川町, 三加茂町, 東祖谷山村, 西祖谷山村

なお、平成１１年４月から、鳴門保健所を徳島保健所鳴門支所に、小松島保健所を阿南保健所小松島支所とする組織変更を行った。平成１５年４月から、上板町を鴨島保健所管轄から徳島保健所管轄とした。平成１６年１０月から、鴨島町、川島町、山川町、美郷村の４町村が合併し吉野川市となった。平成１７年３月から、鷺敷町、相生町、上那賀町、木沢村、木頭村の５町村が合併し那賀町。木屋平村、脇町、美馬町、穴吹町の４町村が合併し美馬市。半田町、貞光町、一字村の３町村が合併しつるぎ町となった。平成１７年４月から、小松島市、勝浦町、上勝町を阿南保健所管轄から徳島保健所管轄とした。平成１７年４月から、吉野町、土成町、市場町、阿波町の４町が合併し阿波市となった。平成１８年３月から、三野町、池田町、山城町、井川町、東祖谷山村、西祖谷山村の６町が合併し三好市。三好町、三加茂町の２町が合併し東みよし町。阿南市、那賀川町、羽ノ浦町の１市２町が合併し阿南市。由岐町、日和佐町の２町が合併し美波町。海南町、海部町、穴喰町の３町が合併し海陽町となった。

平成１８年度、鴨島保健所は吉野川保健所、日和佐保健所は美波保健所、穴吹保健所は美馬保健所、池田保健所は三好保健所となった。

○ 計算で使⽤した徳島県⼈⼝と基準⼈⼝

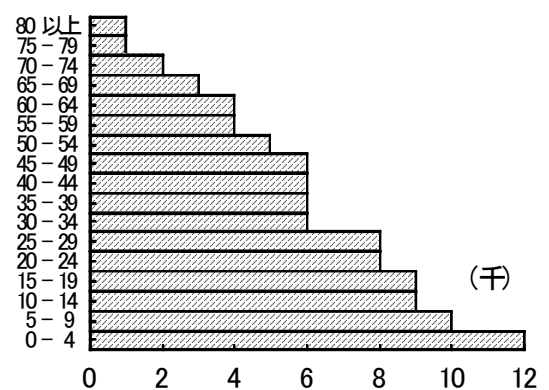
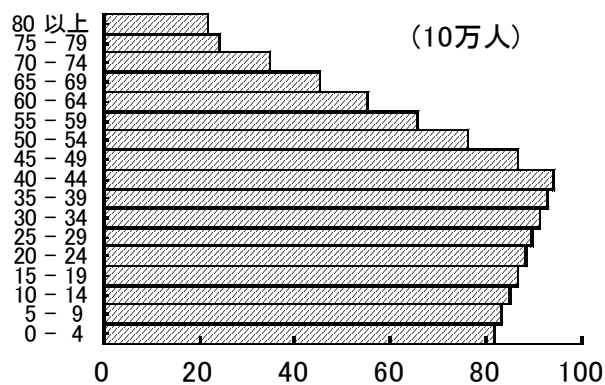
年齢階級	徳島県(H15)*			日本モデル⼈⼝ 「昭和60年モデル⼈⼝」	世界モデル⼈⼝ 「old standard」
	男	女	計		
0 - 4	18,000	17,000	34,000	8,180,000	12,000
5 - 9	19,000	18,000	36,000	8,338,000	10,000
10 - 14	20,000	19,000	39,000	8,497,000	9,000
15 - 19	23,000	22,000	46,000	8,655,000	9,000
20 - 24	22,000	23,000	44,000	8,814,000	8,000
25 - 29	24,000	25,000	49,000	8,972,000	8,000
30 - 34	25,000	26,000	51,000	9,130,000	6,000
35 - 39	22,000	24,000	46,000	9,289,000	6,000
40 - 44	23,000	25,000	48,000	9,400,000	6,000
45 - 49	27,000	27,000	54,000	8,651,000	6,000
50 - 54	34,000	34,000	68,000	7,616,000	5,000
55 - 59	29,000	29,000	58,000	6,581,000	4,000
60 - 64	24,000	27,000	51,000	5,546,000	4,000
65 - 69	24,000	28,000	52,000	4,511,000	3,000
70 - 74	22,000	29,000	51,000	3,476,000	2,000
75 - 79	17,000	24,000	41,000	2,441,000	1,000
80 以上	15,000	33,000	48,000	2,190,000	1,000
total	388,000	429,000	817,000	120,287,000	100,000

*(H15. 10. 01の推計値から)

年齢調整計算で使⽤した基準⼈⼝

昭和60年モデル⼈⼝

世界モデル⼈⼝ (old standard)



・ 地域別の計算で使用した徳島県の地域人口

男	徳島県	東部	東部			南部	南部			西部	西部	
			徳島HC	鳴門HC	鴨島HC		小松島HC	阿南HC	日和佐HC		穴吹HC	池田HC
H5(1993. 10. 1)	394,010	258,801	165,333	43,884	49,584	82,886	24,875	44,368	13,643	52,323	25,424	26,899
H6(1994. 10. 1)	393,733	259,317	165,739	44,010	49,568	82,626	24,860	44,293	13,473	51,790	25,094	26,696
H7(1995. 10. 1)	395,636	261,083	167,625	44,101	49,357	82,701	24,912	44,350	13,439	51,852	25,200	26,652
H8(1996. 10. 1)	395,673	261,754	168,298	44,202	49,254	82,541	24,911	44,344	13,286	51,378	24,950	26,428
H9(1997. 10. 1)	395,362	262,029	168,438	44,557	49,034	82,430	24,880	44,468	13,082	50,903	24,634	26,269
H10(1998. 10. 1)	395,101	262,480	168,894	44,798	48,788	82,238	24,813	44,488	12,937	50,383	24,371	26,012
H11(1999. 10. 1)	394,192	262,530	169,017	44,833	48,680	81,860	24,701	44,366	12,793	49,802	24,146	25,656
H12(2000. 10. 1)	391,718	261,778	213,436		48,342	81,164		68,534	12,630	48,776	23,594	25,182
H13(2001. 10. 1)	390,839	261,702	213,545		48,157	80,833		68,280	12,553	48,304	23,355	24,949
H14(2002. 10. 1)	389,844	261,444	213,512		47,932	80,615		68,146	12,469	47,785	23,105	24,680
H15(2003. 10. 1)	388,345	261,179	219,788		41,391	80,029		67,709	12,320	47,137	22,817	24,320

女	徳島県	東部	東部			南部	南部			西部	西部	
			徳島HC	鳴門HC	鴨島HC		小松島HC	阿南HC	日和佐HC		穴吹HC	池田HC
H5(1993. 10. 1)	435,822	286,668	184,129	47,953	54,586	91,317	27,735	48,007	15,575	57,837	27,950	29,887
H6(1994. 10. 1)	435,706	287,227	184,520	48,075	54,632	90,983	27,763	47,873	15,347	57,496	27,759	29,737
H7(1995. 10. 1)	436,791	289,085	186,298	48,383	54,404	90,662	27,822	47,701	15,139	57,044	27,616	29,428
H8(1996. 10. 1)	436,853	289,935	186,851	48,647	54,437	90,260	27,764	47,517	14,979	56,658	27,372	29,286
H9(1997. 10. 1)	436,751	290,623	187,212	49,026	54,385	89,937	27,671	47,456	14,810	56,191	27,108	29,083
H10(1998. 10. 1)	436,933	291,230	187,647	49,222	54,361	89,921	27,656	47,562	14,703	55,782	26,862	28,920
H11(1999. 10. 1)	436,220	291,507	187,930	49,312	54,265	89,502	27,480	47,477	14,545	55,221	26,671	28,540
H12(2000. 10. 1)	432,390	289,126	235,334		53,792	88,804		74,268	14,536	54,460	26,138	28,322
H13(2001. 10. 1)	431,945	289,256	235,644		53,612	88,541		74,009	14,532	54,148	26,048	28,100
H14(2002. 10. 1)	431,047	289,384	235,823		53,561	88,039		73,756	14,283	53,624	25,861	27,763
H15(2003. 10. 1)	429,592	289,188	242,737		46,451	87,390		73,311	14,079	53,014	25,662	27,352

計	徳島県	東部	東部			南部	南部			西部	西部	
			徳島HC	鳴門HC	鴨島HC		小松島HC	阿南HC	日和佐HC		穴吹HC	池田HC
H5(1993. 10. 1)	829, 832	545, 469	349, 462	91, 837	104, 170	174, 203	52, 610	92, 375	29, 218	110, 160	53, 374	56, 786
H6(1994. 10. 1)	829, 439	546, 544	350, 259	92, 085	104, 200	173, 609	52, 623	92, 166	28, 820	109, 286	52, 853	56, 433
H7(1995. 10. 1)	832, 427	550, 168	353, 923	92, 484	103, 761	173, 363	52, 734	92, 051	28, 578	108, 896	52, 816	56, 080
H8(1996. 10. 1)	832, 526	551, 689	355, 149	92, 849	103, 691	172, 801	52, 675	91, 861	28, 265	108, 036	52, 322	55, 714
H9(1997. 10. 1)	832, 113	552, 652	355, 650	93, 583	103, 419	172, 367	52, 551	91, 924	27, 892	107, 094	51, 742	55, 352
H10(1998. 10. 1)	832, 034	553, 710	356, 541	94, 020	103, 149	172, 159	52, 469	92, 050	27, 640	106, 165	51, 233	54, 932
H11(1999. 10. 1)	830, 412	554, 037	356, 947	94, 145	102, 945	171, 362	52, 181	91, 843	27, 338	105, 013	50, 817	54, 196
H12(2000. 10. 1)	824, 108	550, 904	448, 770		102, 134	169, 968		142, 802	27, 166	103, 236	49, 732	53, 504
H13(2001. 10. 1)	822, 784	550, 958	449, 189		101, 769	169, 374		142, 289	27, 085	102, 452	49, 403	53, 049
H14(2002. 10. 1)	820, 891	550, 828	449, 335		101, 493	168, 654		141, 902	26, 752	101, 409	48, 966	52, 443
H15(2003. 10. 1)	817, 937	550, 367	462, 525		87, 842	167, 419		141, 020	26, 399	100, 151	48, 479	51, 672

○ ICD-10の分類の構成（基本分類表）（抜粋）

第2章 新生物		C 08.9	大唾液腺, 部位不明
悪性新生物 (C 00-C 97)		C 09	扁桃の悪性新生物
口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物 (C 00-C 14)		C 09.0	扁桃窩
C 00 口唇の悪性新生物		C 09.1	扁桃口蓋弓(前)(後)
C 00.0	外(側)上唇	C 09.8	扁桃の境界部病巣
C 00.1	外(側)下唇	C 09.9	扁桃, 部位不明
C 00.2	外(側)口唇, 部位不明	C 10	中咽頭の悪性新生物
C 00.3	上唇, 内側面	C 10.0	喉頭蓋谷
C 00.4	下唇, 内側面	C 10.1	喉頭蓋の前面
C 00.5	口唇, 部位不明, 内側面	C 10.2	中咽頭側壁
C 00.6	唇交連	C 10.3	中咽頭後壁
C 00.8	口唇の境界部病巣	C 10.4	鰓裂
C 00.9	口唇, 部位不明	C 10.8	中咽頭の境界部病巣
C 01	舌根<基底>部の悪性新生物	C 10.9	中咽頭, 部位不明
C 01.9	舌根部, NOS	C 11	鼻<上>咽頭の悪性新生物
C 02	その他及び部位不明の舌の悪性新生物	C 11.0	鼻<上>咽頭上壁
C 02.0	舌背面	C 11.1	鼻<上>咽頭後壁
C 02.1	舌縁	C 11.2	鼻<上>咽頭側壁
C 02.2	舌下面	C 11.3	鼻<上>咽頭前壁
C 02.3	舌の前3分の2, 部位不明	C 11.8	鼻<上>咽頭の境界部病巣
C 02.4	舌扁桃	C 11.9	鼻<上>咽頭, 部位不明
C 02.8	舌の境界部病巣	C 12	梨状陥凹<洞>の悪性新生物
C 02.9	舌, 部位不明	C 12.9	梨状陥凹
C 03	歯肉の悪性新生物	C 13	下咽頭の悪性新生物
C 03.0	上顎歯肉	C 13.0	後輪状軟骨部
C 03.1	下顎歯肉	C 13.1	披裂喉頭蓋ひだ, 下咽頭面
C 03.9	歯肉, 部位不明	C 13.2	下咽頭後壁
C 04	口腔底の悪性新生物	C 13.8	下咽頭の境界部病巣
C 04.0	前部口腔底	C 13.9	下咽頭, 部位不明
C 04.1	側部口腔底	C 14	その他及び部位不明確の口唇, 口腔及び咽頭の悪性新生物
C 04.8	口腔底の境界部病巣	C 14.0	咽頭, 部位不明
C 04.9	口腔底, 部位不明	C 14.2	ワルダイヤー環<輪>
C 05	口蓋の悪性新生物	C 14.8	口唇, 口腔及び咽頭の境界部病巣
C 05.0	硬口蓋	消化器の悪性新生物 (C 15-C 26)	
C 05.1	軟口蓋	C 15	食道の悪性新生物
C 05.2	口蓋垂	C 15.0	頸部食道
C 05.8	口蓋の境界部病巣	C 15.1	胸部食道
C 05.9	口蓋, 部位不明	C 15.2	腹部食道
C 06	その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	C 15.3	上部食道
C 06.0	頬粘膜	C 15.4	中部食道
C 06.1	口腔前庭	C 15.5	下部食道
C 06.2	臼後部	C 15.8	食道の境界部病巣
C 06.8	その他及び部位不明の口腔の境界部病巣	C 15.9	食道, 部位不明
C 06.9	口腔, 部位不明	C 16	胃の悪性新生物
C 07	耳下腺の悪性新生物	C 16.0	噴門
C 07.9	耳下腺	C 16.1	胃底部
C 08	その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	C 16.2	胃体部
C 08.0	顎下腺	C 16.3	幽門前庭
C 08.1	舌下腺	C 16.4	幽門
C 08.8	大唾液腺の境界部病巣		

C 16.5	胃小弯, 部位不明	C 25.7	腭のその他の部位
C 16.6	胃大弯, 部位不明	C 25.8	腭の境界部病巣
C 16.8	胃の境界部病巣	C 25.9	腭, 部位不明
C 16.9	胃, 部位不明	C 26	その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物
C 17	小腸の悪性新生物	C 26.0	腸管, 部位不明
C 17.0	十二指腸	C 26.1	脾
C 17.1	空腸	C 26.8	消化器系の境界部病巣
C 17.2	回腸	C 26.9	消化器系, 部位不明確
C 17.3	メッケル憩室	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物 (C 30－C 39)	
C 17.8	小腸の境界部病巣	C 30	鼻腔及び中耳の悪性新生物
C 17.9	小腸, 部位不明	C 30.0	鼻腔
C 18	結腸の悪性新生物	C 30.1	中耳
C 18.0	盲腸	C 31	副鼻腔の悪性新生物
C 18.1	虫垂	C 31.0	上顎洞
C 18.2	上行結腸	C 31.1	篩骨洞<蜂巢>
C 18.3	右結腸曲<肝弯曲>	C 31.2	前頭洞
C 18.4	横行結腸	C 31.3	蝶形骨洞
C 18.5	左結腸曲<脾弯曲>	C 31.8	副鼻腔の境界部病巣
C 18.6	下行結腸	C 31.9	副鼻腔, 部位不明
C 18.7	S 状結腸	C 32	喉頭の悪性新生物
C 18.8	結腸の境界部病巣	C 32.0	声門
C 18.9	結腸, 部位不明	C 32.1	声門上部
C 19	直腸 S 状結腸移行部の悪性新生物	C 32.2	声門下部
C 19.9	直腸 S 状結腸移行部	C 32.3	喉頭軟骨
C 20	直腸の悪性新生物	C 32.8	喉頭の境界部病巣
C 20.9	直腸, NOS	C 32.9	喉頭, 部位不明
C 21	肛門及び肛門管の悪性新生物	C 33	気管の悪性新生物
C 21.0	肛門, 部位不明	C 33.9	気管
C 21.1	肛門管	C 34	気管支及び肺の悪性新生物
C 21.2	総排泄腔由来部	C 34.0	主気管支
C 21.8	直腸, 肛門及び肛門管の境界部病巣	C 34.1	上葉, 気管支又は肺
C 22	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C 34.2	中葉, 気管支又は肺
C 22.0	肝癌	C 34.3	下葉, 気管支又は肺
C 22.1	肝内胆管癌	C 34.8	気管支及び肺の境界部病巣
C 22.2	肝芽(細胞)腫	C 34.9	気管支又は肺, 部位不明
C 22.3	肝血管肉腫	C 37	胸腺の悪性新生物
C 22.4	その他の肝の肉腫	C 37.9	胸腺
C 22.7	その他の明示された肝の癌(腫)	C 38	心臓, 縦隔及び胸膜の悪性新生物
C 22.9	肝, 詳細不明	C 38.0	心臓
C 23	胆のう<嚢>の悪性新生物	C 38.1	前縦隔
C 23.9	胆のう	C 38.2	後縦隔
C 24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	C 38.3	縦隔, 部位不明
C 24.0	肝外胆管	C 38.4	胸膜
C 24.1	ファーター乳頭膨大部	C 38.8	心臓, 縦隔及び胸膜の境界部病巣
C 24.8	胆道の境界部病巣	C 39	その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物
C 24.9	胆道, 部位不明	C 39.0	上気道, 部位不明
C 25	腭の悪性新生物	C 39.8	呼吸器及び胸腔内臓器の境界部病巣
C 25.0	腭頭部	C 39.9	呼吸器系, 部位不明確
C 25.1	腭体部	骨及び関節軟骨の悪性新生物 (C 40－C 41)	
C 25.2	腭尾部	C 40	(四) 肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物
C 25.3	腭管	C 40.0	肩甲骨及び上肢の長骨
C 25.4	内分泌腭		

C 40.1 上肢の短骨
 C 40.2 下肢の長骨
 C 40.3 下肢の短骨
 C 40.8 (四)肢の骨及び関節軟骨の境界部病巣
 C 40.9 (四)肢の骨及び関節軟骨, 部位不明

C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物

C 41.0 頭蓋骨及び顔面骨
 C 41.1 下顎
 C 41.2 脊柱
 C 41.3 肋骨, 胸骨及び鎖骨
 C 41.4 骨盤骨, 仙骨及び尾骨
 C 41.8 骨及び関節軟骨の境界部病巣
 C 41.9 骨及び関節軟骨, 部位不明

C 42 造血系及び細網内皮系

C 42.0 血液
 C 42.1 骨髓
 C 42.2 脾
 C 42.3 細網内皮系, NOS
 C 42.4 造血系, NOS

皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物 (C 43－C 44)

C 43 皮膚の悪性黒色腫

C 43.0 口唇の悪性黒色腫
 C 43.1 眼瞼の悪性黒色腫, 眼角を含む
 C 43.2 耳及び外耳道の悪性黒色腫
 C 43.3 その他及び部位不明の顔面の悪性黒色腫
 C 43.4 頭皮及び頸部の悪性黒色腫
 C 43.5 体幹の悪性黒色腫
 C 43.6 上肢の悪性黒色腫, 肩を含む
 C 43.7 下肢の悪性黒色腫, 股関節部を含む
 C 43.8 皮膚境界部悪性黒色腫
 C 43.9 皮膚の悪性黒色腫, 部位不明

C 44 皮膚のその他の悪性新生物

C 44.0 口唇の皮膚
 C 44.1 眼瞼の皮膚, 眼角を含む
 C 44.2 耳及び外耳道の皮膚
 C 44.3 その他及び部位不明の顔面の皮膚
 C 44.4 頭皮及び頸部の皮膚
 C 44.5 体幹の皮膚
 C 44.6 上肢の皮膚, 肩を含む
 C 44.7 下肢の皮膚, 股関節部を含む
 C 44.8 皮膚の境界部病巣
 C 44.9 皮膚の悪性新生物, 部位不明

中皮及び軟部組織の悪性新生物 (C 45－C 49)

C 45 中皮腫

C 45.0 胸膜中皮腫
 C 45.1 腹膜中皮腫
 C 45.2 心膜中皮腫
 C 45.7 その他の部位の中皮腫
 C 45.9 中皮腫, 部位不明

C 46 カボジ肉腫

C 46.0 皮膚のカボジ肉腫

C 46.1 軟部組織のカボジ肉腫
 C 46.2 口蓋のカボジ肉腫
 C 46.3 リンパ節のカボジ肉腫
 C 46.7 その他の部位のカボジ肉腫
 C 46.8 多臓器のカボジ肉腫
 C 46.9 カボジ肉腫, 部位不明

C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物

C 47.0 頭部, 顔面及び頸部の末梢神経
 C 47.1 上肢の末梢神経, 肩を含む
 C 47.2 下肢の末梢神経, 股関節部を含む
 C 47.3 胸部<郭>の末梢神経
 C 47.4 腹部の末梢神経
 C 47.5 骨盤の末梢神経
 C 47.6 体幹の末梢神経, 部位不明
 C 47.8 末梢神経及び自律神経系の境界部病巣
 C 47.9 末梢神経及び自律神経系, 部位不明

C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物

C 48.0 後腹膜
 C 48.1 腹膜の明示された部位
 C 48.2 腹膜, 部位不明
 C 48.8 後腹膜及び腹膜の境界部病巣

C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物

C 49.0 頭部, 顔面及び頸部の結合組織及び軟部組織
 C 49.1 上肢の結合組織及び軟部組織, 肩を含む
 C 49.2 下肢の結合組織及び軟部組織, 股関節部を含む
 C 49.3 胸部<郭>の結合組織及び軟部組織
 C 49.4 腹部の結合組織及び軟部組織
 C 49.5 骨盤の結合組織及び軟部組織
 C 49.6 体幹の結合組織及び軟部組織, 部位不明
 C 49.8 結合組織及び軟部組織の境界部病巣
 C 49.9 結合組織及び軟部組織, 部位不明

乳房の悪性新生物 (C 50)

C 50 乳房の悪性新生物

C 50.0 乳頭部及び乳輪
 C 50.1 乳房中央部
 C 50.2 乳房上内側4分の1
 C 50.3 乳房下内側4分の1
 C 50.4 乳房上外側4分の1
 C 50.5 乳房下外側4分の1
 C 50.6 乳腺腋窩尾部
 C 50.8 乳房の境界部病巣
 C 50.9 乳房, 部位不明

女性性器の悪性新生物 (C 51－C 58)

C 51 外陰の悪性新生物

C 51.0 大陰唇
 C 51.1 小陰唇
 C 51.2 陰核
 C 51.8 外陰の境界部病巣
 C 51.9 外陰, 部位不明

C 52 膣の悪性新生物

C 52.9 膣, NOS

C 53 子宮頸(部)の悪性新生物
C 53.0 子宮頸内膜
C 53.1 子宮頸外部
C 53.8 子宮頸(部)の境界部病巣
C 53.9 子宮頸(部), 部位不明

C 54 子宮体部の悪性新生物
C 54.0 子宮峡部
C 54.1 子宮内膜
C 54.2 子宮筋層
C 54.3 子宮底
C 54.8 子宮体部の境界部病巣
C 54.9 子宮体部, 部位不明

C 55 子宮の悪性新生物, 部位不明
C 55.9 子宮, NOS

C 56 卵巣の悪性新生物
C 56.9 卵巣

C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物
C 57.0 卵管
C 57.1 子宮広間膜<靱帯>
C 57.2 子宮円索<靱帯>
C 57.3 子宮傍(結合)組織
C 57.4 子宮付属器, 部位不明
C 57.7 その他の明示された女性性器
C 57.8 女性性器の境界部病巣
C 57.9 女性性器, 部位不明

C 58 胎盤の悪性新生物
C 58.9 胎盤

男性性器の悪性新生物 (C 60－C 63)

C 60 陰茎の悪性新生物
C 60.0 包皮
C 60.1 亀頭
C 60.2 陰茎体部
C 60.8 陰茎の境界部病巣
C 60.9 陰茎, 部位不明

C 61 前立腺の悪性新生物

C 62 精巣<睾丸>の悪性新生物
C 62.0 停留精巣<睾丸>
C 62.1 下降精巣<睾丸>
C 62.9 精巣<睾丸>, 部位不明

C 63 その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物
C 63.0 精巣上体<副睾丸>
C 63.1 精索
C 63.2 陰のう<囊>
C 63.7 その他の明示された男性性器
C 63.8 男性性器の境界部病巣
C 63.9 男性性器, 部位不明

尿路の悪性新生物 (C 64－C 68)

C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物
C 64.9 腎, NOS

C 65 腎盂の悪性新生物
C 65.9 腎盂

C 66 尿管の悪性新生物

C 66.9 尿管

C 67 膀胱の悪性新生物

C 67.0 膀胱三角
C 67.1 膀胱円蓋
C 67.2 膀胱側壁
C 67.3 膀胱前壁
C 67.4 膀胱後壁
C 67.5 膀胱頸部
C 67.6 尿管口
C 67.7 尿膜管
C 67.8 膀胱の境界部病巣
C 67.9 膀胱, 部位不明

C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物

C 68.0 尿道
C 68.1 尿道傍腺
C 68.8 泌尿器の境界部病巣
C 68.9 泌尿器, 部位不明

眼、脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物 (C 69－C 72)

C 69 眼及び付属器の悪性新生物

C 69.0 結膜
C 69.1 角膜
C 69.2 網膜
C 69.3 脈絡膜
C 69.4 毛様体
C 69.5 涙腺及び涙管
C 69.6 眼窩
C 69.8 眼及び付属器の境界部病巣
C 69.9 眼, 部位不明

C 70 髄膜の悪性新生物

C 70.0 脳髄膜
C 70.1 脊髄膜
C 70.9 髄膜, 部位不明

C 71 脳の悪性新生物

C 71.0 脳葉及び脳室を除く大脳
C 71.1 前頭葉
C 71.2 側頭葉
C 71.3 頭頂葉
C 71.4 後頭葉
C 71.5 脳室
C 71.6 小脳
C 71.7 脳幹
C 71.8 脳の境界部病巣
C 71.9 脳, 部位不明

C 72 脊髄、脳神経及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物

C 72.0 脊髄
C 72.1 馬尾
C 72.2 嗅神経
C 72.3 視神経
C 72.4 聴神経
C 72.5 その他及び部位不明の脳神経

C 72.8	脳及び中枢神経系のその他の部位の境界部病巣	C 79	その他の部位の続発性悪性新生物
C 72.9	中枢神経系, 部位不明	C 79.0	腎及び腎盂の続発性悪性新生物
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物 (C 73－C 75)		C 79.1	膀胱並びにその他及び部位不明の泌尿器の続発性悪性新生物
C 73	甲状腺の悪性新生物	C 79.2	皮膚の続発性悪性新生物
C 73.9	甲状腺	C 79.3	脳及び脳髄膜の続発性悪性新生物
C 74	副腎の悪性新生物	C 79.4	眼並びにその他及び部位不明の中枢神経系の続発性悪性新生物
C 74.0	副腎皮質	C 79.5	骨及び骨髄の続発性悪性新生物
C 74.1	副腎髄質	C 79.6	卵巣の続発性悪性新生物
C 74.9	副腎, 部位不明	C 79.7	副腎の続発性悪性新生物
C 75	その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	C 79.8	その他の明示された部位の続発性悪性新生物
C 75.0	上皮小体<副甲状腺>	C 80	部位の明示されない悪性新生物
C 75.1	下垂体	C 80.9	原発部位不明
C 75.2	頭蓋咽頭管	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の悪性新生物 (C 81－C 96)	
C 75.3	松果体	C 81	ホジキン病
C 75.4	頸動脈小体	C 81.0	リンパ球優勢型
C 75.5	大動脈小体及びその他のパラガングリア<傍神経節>	C 81.1	結節硬化型
C 75.8	多腺併発, 部位不明	C 81.2	混合細胞型
C 75.9	内分泌腺, 部位不明	C 81.3	リンパ球減少型
部位不明確, 続発部位及び部位不明の悪性新生物 (C 76－C 80)		C 81.7	その他のホジキン病
C 76	その他及び部位不明確の悪性新生物	C 81.9	ホジキン病, 詳細不明
C 76.0	頭部, 顔面及び頸部	C 82	ろ<濾>胞性[結節性]非ホジキンリンパ腫
C 76.1	胸部<郭>	C 82.0	中細胞型, ろ<濾>胞性
C 76.2	腹部	C 82.1	中細胞及び大細胞混合型, ろ<濾>胞性
C 76.3	骨盤	C 82.2	大細胞型, ろ<濾>胞性
C 76.4	上肢	C 82.7	ろ<濾>胞性非ホジキンリンパ腫のその他の型
C 76.5	下肢	C 82.9	ろ<濾>胞性非ホジキンリンパ腫, 詳細不明
C 76.7	その他の不明確な部位	C 83	びまん性非ホジキンリンパ腫
C 76.8	その他及び部位不明確の境界部病巣	C 83.0	小細胞型(びまん性)
C 77	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	C 83.1	小切れ込み核細胞型(びまん性)
C 77.0	頭部, 顔面及び頸部リンパ節	C 83.2	小細胞及び大細胞混合型(びまん性)
C 77.1	胸腔内リンパ節	C 83.3	大細胞型(びまん性)
C 77.2	腹腔内リンパ節	C 83.4	免疫芽球型(びまん性)
C 77.3	腋窩及び上肢リンパ節	C 83.5	リンパ芽球型(びまん性)
C 77.4	そけい<鼠径>及び下肢リンパ節	C 83.6	未分化型(びまん性)
C 77.5	骨盤内リンパ節	C 83.7	パーキットリンパ腫
C 77.8	多部位のリンパ節	C 83.8	びまん性非ホジキンリンパ腫のその他の型
C 77.9	リンパ節, 部位不明	C 83.9	びまん性非ホジキンリンパ腫, 詳細不明
C 78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	C 84	末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫
C 78.0	肺の続発性悪性新生物	C 84.0	菌状息肉症
C 78.1	縦隔の続発性悪性新生物	C 84.1	セザリー 病
C 78.2	胸膜の続発性悪性新生物	C 84.2	Tゾーン<T - zone>リンパ腫
C 78.3	中耳並びにその他及び部位不明の呼吸器の続発性悪性新生物	C 84.3	リンパ類上皮性リンパ腫
C 78.4	小腸の続発性悪性新生物	C 84.4	末梢性T細胞リンパ腫
C 78.5	大腸及び直腸の続発性悪性新生物	C 84.5	その他及び詳細不明のT細胞リンパ腫
C 78.6	後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物	C 85	非ホジキンリンパ腫のその他及び詳細不明の型
C 78.7	肝の続発性悪性新生物	C 85.0	リンパ肉腫
C 78.8	その他及び部位不明の消化器の続発性悪性新生物	C 85.1	B細胞リンパ腫, 詳細不明
		C 85.7	非ホジキンリンパ腫のその他の明示された型
		C 85.9	非ホジキンリンパ腫, 型不明

C 88	悪性免疫増殖性疾患	C 96.1	悪性組織球症
C 88.0	ワルデンストレームマクログロブリン血症	C 96.2	悪性肥満細胞腫
C 88.1	アルファH<重>鎖病	C 96.3	真性組織球性リンパ腫
C 88.2	ガンマH<重>鎖病	C 96.7	リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他 の明示された悪性新生物
C 88.3	免疫増殖性小腸疾患	C 96.9	リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新 生物,詳細不明
C 88.7	その他の悪性免疫増殖性疾患		独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C 97)
C 88.9	悪性免疫増殖性疾患,詳細不明	C 97	独立した(原発性)多部位の悪性新生物 上皮内新生物(D 00－D 09)
C 90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	D 00	口腔,食道及び胃の上皮内癌
C 90.0	多発性骨髄腫	D 00.0	口唇,口腔及び咽頭
C 90.1	形質細胞白血病	D 00.1	食道
C 90.2	形質細胞腫,髄外性	D 00.2	胃
C 91	リンパ性白血病	D 01	その他及び部位不明の消化器の上皮内癌
C 91.0	急性リンパ芽球性白血病	D 01.0	結腸
C 91.1	慢性リンパ球性白血病	D 01.1	直腸S状結腸移行部
C 91.2	亜急性リンパ球性白血病	D 01.2	直腸
C 91.3	前リンパ球性白血病	D 01.3	肛門及び肛門管
C 91.4	毛様細胞性白血病	D 01.4	その他及び部位不明の腸
C 91.5	成人型T細胞白血病	D 01.5	肝,胆のう<嚢>及び胆管
C 91.7	その他のリンパ性白血病	D 01.7	その他の明示された消化器
C 91.9	リンパ性白血病,詳細不明	D 01.9	消化器,部位不明
C 92	骨髄性白血病	D 02	中耳及び呼吸器系の上皮内癌
C 92.0	急性骨髄性白血病	D 02.0	喉頭
C 92.1	慢性骨髄性白血病	D 02.1	気管
C 92.2	亜急性骨髄性白血病	D 02.2	気管支及び肺
C 92.3	骨髄性肉腫	D 02.3	中耳及び呼吸器系のその他の部位
C 92.4	急性前骨髄球性白血病	D 02.4	呼吸器系,部位不明
C 92.5	急性骨髄単球性白血病	D 03	上皮内黒色腫
C 92.7	その他の骨髄性白血病	D 03.0	口唇の上皮内黒色腫
C 92.9	骨髄性白血病,詳細不明	D 03.1	眼瞼の上皮内黒色腫,眼角を含む
C 93	単球性白血病	D 03.2	耳及び外耳道の上皮内黒色腫
C 93.0	急性単球性白血病	D 03.3	その他及び部位不明の顔面の上皮内黒色腫
C 93.1	慢性単球性白血病	D 03.4	頭皮及び頸部の上皮内黒色腫
C 93.2	亜急性単球性白血病	D 03.5	体幹の上皮内黒色腫
C 93.7	その他の単球性白血病	D 03.6	上肢の上皮内黒色腫,肩を含む
C 93.9	単球性白血病,詳細不明	D 03.7	下肢の上皮内黒色腫,股関節部を含む
C 94	その他の細胞型の明示された白血病	D 03.8	その他の部位の上皮内黒色腫
C 94.0	急性赤血病及び赤白血病	D 03.9	上皮内黒色腫,部位不明
C 94.1	慢性赤血病	D 04	皮膚の上皮内癌
C 94.2	急性巨核芽球性白血病	D 04.0	口唇の皮膚
C 94.3	肥満細胞白血病	D 04.1	眼瞼の皮膚,眼角を含む
C 94.4	急性汎骨髄症	D 04.2	耳及び外耳道の皮膚
C 94.5	急性骨髄線維症	D 04.3	その他及び部位不明の顔面の皮膚
C 94.7	その他の明示された白血病	D 04.4	頭皮及び頸部の皮膚
C 95	細胞型不明の白血病	D 04.5	体幹の皮膚
C 95.0	細胞型不明の急性白血病	D 04.6	上肢の皮膚,肩を含む
C 95.1	細胞型不明の慢性白血病	D 04.7	下肢の皮膚,股関節部を含む
C 95.2	細胞型不明の亜急性白血病	D 04.8	その他の部位の皮膚
C 95.7	細胞型不明のその他の白血病	D 04.9	皮膚,部位不明
C 95.9	白血病,詳細不明	D 05	乳房の上皮内癌
C 96	リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び 詳細不明の悪性新生物		
C 96.0	レテラー・ジーベ病		

D 05.0	小葉の上皮内癌	D 13.1	胃
D 05.1	乳管内の上皮内癌	D 13.2	十二指腸
D 05.7	乳房のその他の上皮内癌	D 13.3	その他及び部位不明の小腸
D 05.9	乳房の上皮内癌, 部位不明	D 13.4	肝
D 06	子宮頸(部)の上皮内癌	D 13.5	肝外胆管
D 06.0	子宮頸内膜	D 13.6	膵
D 06.1	子宮外頸部	D 13.7	内分泌膵
D 06.7	子宮頸(部)のその他の部位	D 13.9	消化器系, 部位不明確
D 06.9	子宮頸(部), 部位不明	D 14	中耳及び呼吸器系の良性新生物
D 07	その他及び部位不明の性器の上皮内癌	D 14.0	中耳, 鼻腔及び副鼻腔
D 07.0	子宮内膜	D 14.1	喉頭
D 07.1	外陰部	D 14.2	気管
D 07.2	膣	D 14.3	気管支及び肺
D 07.3	その他及び部位不明の女性性器	D 14.4	呼吸器系, 部位不明
D 07.4	陰茎	D 15	その他及び部位不明の胸腔内臓器の良性新生物
D 07.5	前立腺	D 15.0	胸腺
D 07.6	その他及び部位不明の男性性器	D 15.1	心臓
D 09	その他及び部位不明の上皮内癌	D 15.2	縦隔
D 09.0	膀胱	D 15.7	その他の明示された胸腔内臓器
D 09.1	その他及び部位不明の泌尿器	D 15.9	胸腔内臓器, 部位不明
D 09.2	眼	D 16	骨及び関節軟骨の良性新生物
D 09.3	甲状腺及びその他の内分泌腺	D 16.0	肩甲骨及び上肢の長骨
D 09.7	その他の明示された部位の上皮内癌	D 16.1	上肢の短骨
D 09.9	上皮内癌, 部位不明	D 16.2	下肢の長骨
良性新生物 (D 10－D 36)			
D 10	口腔及び咽頭の良性新生物	D 16.3	下肢の短骨
D 10.0	口唇	D 16.4	頭蓋骨及び顔面骨
D 10.1	舌	D 16.5	下顎骨
D 10.2	口腔底	D 16.6	脊柱
D 10.3	その他及び部位不明の口腔	D 16.7	肋骨, 胸骨及び鎖骨
D 10.4	扁桃	D 16.8	骨盤骨, 仙骨及び尾骨
D 10.5	中咽頭のその他の部位	D 16.9	骨及び関節軟骨, 部位不明
D 10.6	鼻<上>咽頭	D 17	良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)
D 10.7	下咽頭	D 17.0	頭部, 顔面及び頸部の皮膚及び皮下組織
D 10.9	咽頭, 部位不明	D 17.1	体幹の皮膚及び皮下組織
D 11	大唾液腺の良性新生物	D 17.2	(四)肢の皮膚及び皮下組織
D 11.0	耳下腺	D 17.3	その他及び部位不明の皮膚及び皮下組織
D 11.7	その他の大唾液腺	D 17.4	胸腔内臓器
D 11.9	大唾液腺, 部位不明	D 17.5	腹腔内臓器
D 12	結腸, 直腸, 肛門及び肛門管の良性新生物	D 17.6	精索
D 12.0	盲腸	D 17.7	その他の部位
D 12.1	虫垂	D 17.9	良性脂肪腫性新生物, 部位不明
D 12.2	上行結腸	D 18	血管腫及びリンパ管腫, 各部位
D 12.3	横行結腸	D 18.0	血管腫, 各部位
D 12.4	下行結腸	D 18.1	リンパ管腫, 各部位
D 12.5	S 状結腸	D 19	中皮組織の良性新生物
D 12.6	結腸, 部位不明	D 19.0	胸膜の中皮組織
D 12.7	直腸 S 状結腸移行部	D 19.1	腹膜の中皮組織
D 12.8	直腸	D 19.7	その他の部位の中皮組織
D 12.9	肛門及び肛門管	D 19.9	中皮組織, 部位不明
D 13	消化器系のその他及び部位不明確の良性新生物	D 20	後腹膜及び腹膜の軟部組織の良性新生物
D 13.0	食道	D 20.0	後腹膜
		D 20.1	腹膜

D 21	結合組織及びその他の軟部組織のその他の良性新生物	D 28.9	女性性器, 部位不明
D 21.0	頭部, 顔面及び頸部の結合組織及びその他の軟部組織	D 29	男性性器の良性新生物
D 21.1	上肢の結合組織及びその他の軟部組織, 肩を含む	D 29.0	陰茎
D 21.2	下肢の結合組織及びその他の軟部組織, 股関節部を含む	D 29.1	前立腺
D 21.3	胸部<郭>の結合組織及びその他の軟部組織	D 29.2	精巣<睾丸>
D 21.4	腹部の結合組織及びその他の軟部組織	D 29.3	精巣上体<副睾丸>
D 21.5	骨盤の結合組織及びその他の軟部組織	D 29.4	陰のう<囊>
D 21.6	体幹の結合組織及びその他の軟部組織, 部位不明	D 29.7	その他の男性性器
D 21.9	結合組織及びその他の軟部組織, 部位不明	D 29.9	男性性器, 部位不明
D 22	メラニン細胞性母斑	D 30	泌尿器の良性新生物
D 22.0	口唇のメラニン細胞性母斑	D 30.0	腎
D 22.1	眼瞼のメラニン細胞性母斑, 眼角を含む	D 30.1	腎盂
D 22.2	耳及び外耳道のメラニン細胞性母斑	D 30.2	尿管
D 22.3	その他及び部位不明の顔面のメラニン細胞性母斑	D 30.3	膀胱
D 22.4	頭皮及び頸部のメラニン細胞性母斑	D 30.4	尿道
D 22.5	体幹のメラニン細胞性母斑	D 30.7	その他の泌尿器
D 22.6	上肢のメラニン細胞性母斑, 肩を含む	D 30.9	泌尿器, 部位不明
D 22.7	下肢のメラニン細胞性母斑, 股関節部を含む	D 31	眼及び付属器の良性新生物
D 22.9	メラニン細胞性母斑, 部位不明	D 31.0	結膜
D 23	皮膚のその他の良性新生物	D 31.1	角膜
D 23.0	口唇の皮膚	D 31.2	網膜
D 23.1	眼瞼の皮膚, 眼角を含む	D 31.3	脈絡膜
D 23.2	耳及び外耳道の皮膚	D 31.4	毛様体
D 23.3	その他及び部位不明の顔面の皮膚	D 31.5	涙腺及び涙管
D 23.4	頭皮及び頸部の皮膚	D 31.6	眼窩, 部位不明
D 23.5	体幹の皮膚	D 31.9	眼, 部位不明
D 23.6	上肢の皮膚, 肩を含む	D 32	髄膜の良性新生物
D 23.7	下肢の皮膚, 股関節部を含む	D 32.0	脳髄膜
D 23.9	皮膚, 部位不明	D 32.1	脊髄膜
D 24	乳房の良性新生物	D 32.9	髄膜, 部位不明
D 25	子宮平滑筋腫	D 33	脳及び中枢神経系のその他の部位の良性新生物
D 25.0	粘膜下子宮平滑筋腫	D 33.0	脳, テント上
D 25.1	壁内子宮平滑筋腫	D 33.1	脳, テント下
D 25.2	漿膜下子宮平滑筋腫	D 33.2	脳, 部位不明
D 25.9	子宮平滑筋腫, 部位不明	D 33.3	脳神経
D 26	子宮のその他の良性新生物	D 33.4	脊髄
D 26.0	子宮頸(部)	D 33.7	中枢神経系のその他の明示された部位
D 26.1	子宮体部	D 33.9	中枢神経系, 部位不明
D 26.7	子宮のその他の部位	D 34	甲状腺の良性新生物
D 26.9	子宮, 部位不明	D 35	その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物
D 27	卵巣の良性新生物	D 35.0	副腎
D 28	その他及び部位不明の女性性器の良性新生物	D 35.1	上皮小体<副甲状腺>
D 28.0	外陰	D 35.2	下垂体
D 28.1	膣	D 35.3	頭蓋咽頭管
D 28.2	卵管及び子宮靱帯<広間膜, 円索>	D 35.4	松果体
D 28.7	その他の明示された女性性器	D 35.5	頸動脈小体
		D 35.6	大動脈小体及びその他のパラガングリア<傍神経節>
		D 35.7	その他の明示された内分泌腺
		D 35.8	多腺併発
		D 35.9	内分泌腺, 部位不明
		D 36	その他及び部位不明の良性新生物

D 36.0	リンパ節	D 43.1	脳, テント下
D 36.1	末梢神経及び自律神経系	D 43.2	脳, 部位不明
D 36.7	その他の明示された部位	D 43.3	脳神経
D 36.9	部位不明の良性新生物	D 43.4	脊髄
性状不詳又は不明の新生物 (D 37－D 48)			
D 37	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物	D 43.7	中枢神経系のその他の部位
D 37.0	口唇, 口腔及び咽頭	D 43.9	中枢神経系, 部位不明
D 37.1	胃	D 44	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物
D 37.2	小腸	D 44.0	甲状腺
D 37.3	虫垂	D 44.1	副腎
D 37.4	結腸	D 44.2	上皮小体<副甲状腺>
D 37.5	直腸	D 44.3	下垂体
D 37.6	肝, 胆のう<囊>及び胆管	D 44.4	頭蓋咽頭管
D 37.7	その他の消化器	D 44.5	松果体
D 37.9	消化器, 部位不明	D 44.6	頸動脈小体
D 38	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物	D 44.7	大動脈小体及びその他のパラガングリア<傍神経節>
D 38.0	喉頭	D 44.8	多腺併発
D 38.1	気管, 気管支及び肺	D 44.9	内分泌腺, 部位不明
D 38.2	胸膜	D 45	真正赤血球増加症<多血症>
D 38.3	縦隔	D 46	骨髄異形成症候群
D 38.4	胸腺	D 46.0	鉄芽球を伴わない不応性貧血と記載されたものの
D 38.5	その他の呼吸器	D 46.1	鉄芽球を伴う不応性貧血
D 38.6	呼吸器, 部位不明	D 46.2	芽球過剰性不応性貧血
D 39	女性性器の性状不詳又は不明の新生物	D 46.3	白血病移行期にある芽球過剰性不応性貧血
D 39.0	子宮	D 46.4	不応性貧血, 詳細不明
D 39.1	卵巣	D 46.7	その他の骨髄異形成症候群
D 39.2	胎盤	D 46.9	骨髄異形成症候群, 詳細不明
D 39.7	その他の女性性器	D 47	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の新生物
D 39.9	女性性器, 部位不明	D 47.0	性状不詳及び不明の組織球性及び肥満細胞性腫瘍
D 40	男性性器の性状不詳又は不明の新生物	D 47.1	慢性骨髄増殖性疾患
D 40.0	前立腺	D 47.2	単クローン性異常免疫グロブリン血症
D 40.1	精巣<睾丸>	D 47.3	本態性(出血性)血小板血症
D 40.7	その他の男性性器	D 47.7	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明のその他の明示された新生物
D 40.9	男性性器, 部位不明	D 47.9	リンパ組織, 造血組織及び関連組織の性状不詳又は不明の新生物, 詳細不明
D 41	泌尿器の性状不詳又は不明の新生物	D 48	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物
D 41.0	腎	D 48.0	骨及び関節軟骨
D 41.1	腎盂	D 48.1	結合組織及びその他の軟部組織
D 41.2	尿管	D 48.2	末梢神経及び自律神経系
D 41.3	尿道	D 48.3	後腹膜
D 41.4	膀胱	D 48.4	腹膜
D 41.7	その他の泌尿器	D 48.5	皮膚
D 41.9	泌尿器, 部位不明	D 48.6	乳房
D 42	髄膜の性状不詳又は不明の新生物	D 48.7	その他の明示された部位
D 42.0	脳髄膜	D 48.9	性状不詳又は不明の新生物, 詳細不明
D 42.1	脊髄膜		
D 42.9	髄膜, 部位不明		
D 43	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物		
D 43.0	脳, テント上		

※ 分類名と基本分類コードは, H12. 10. 03に厚生労働省ホームページ(URL <http://www.mhlw.go.jp/>) から引用した。

・ 死因分類表(抜粋)

分類名	基本分類コード	集計略称
02000 新生物	C00-D48	新生物
02100 悪性新生物	C00-C97	全がん
02101 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	C00-C14	口腔 ※
02102 食道の悪性新生物	C15	食道
02103 胃の悪性新生物	C16	胃
02104 結腸の悪性新生物	C18	結腸
02105 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	直腸
02106 肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	肝臓
02107 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	C23-C24	胆嚢・胆管
02108 膵の悪性新生物	C25	膵臓
02109 喉頭の悪性新生物	C32	喉頭 ※
02110 気管、気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	肺
02111 皮膚の悪性新生物	C43-C44	皮膚 ※
02112 乳房の悪性新生物	C50	乳房
02113 子宮の悪性新生物	C53-C55	子宮
02114 卵巣の悪性新生物	C56	卵巣
02115 前立腺の悪性新生物	C61	前立腺
02116 膀胱の悪性新生物	C67	膀胱
02117 中枢神経系の悪性新生物	C70-C72, C75. 1-C75. 3	中枢神経※
02118 悪性リンパ腫	C81-C85	リンパ組織
02119 白血病	C91-C95	白血病
02120 その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	C88-C90, C96	※
02121 その他の悪性新生物	C00-C97の残り	※
02200 その他の新生物	D00-D48	※
02201 中枢神経系のその他の新生物	D32-D33, D35. 2-D35. 4, D42-D43, D44. 3-D44. 5	※
02202 中枢神経系を除くその他の新生物	D00-D48の残り	※

※ 少数のため、集計時は除外している。

※ 分類名と基本分類コードは、H12. 10. 03に厚生労働省ホームページ(URL <http://www.mhlw.go.jp/>)から引用した。

○ 文献

- 1) 藤本伊三郎編：地域がん登録の手引き．厚生省がん研究助成金「がん予防におけるがん登録の役割に関する研究」班（主任研究者 福岡誠吾），千葉，1986.
- 2) 大阪府環境保健部，大阪府医師会，大阪府立成人病センター：大阪府におけるがん登録 第56報－1991年のがん罹患と医療－．大阪府環境保健部，大阪，平成6年
- 3) 厚生統計協会：国民衛生の動向・厚生指標 臨時増刊 第52巻 第9号 通巻816号．厚生統計協会，東京，2005年8月31日
- 4) 徳島県保健福祉部健康増進課：保健統計年報 平成15年．徳島県保健福祉部健康増進課，徳島，平成17年3月

平成15年（2003年）

徳島県のがん登録事業

監修 徳島県保健福祉部健康増進課
徳島県生活習慣病検診管理指導協議会
生活習慣病登録・評価等部会

発行日 2008年3月

編集 財団法人徳島県総合健診センター
発行

〒770-0042 徳島県徳島市蔵本町1丁目10番3
Tel 088-633-2266 Fax 088-633-1811
mail:tokusoken@nifty.com

地域がん登録室
<http://toku-souken.jpn.org>